

FILE No. 15
都市整備部

ファイルは全21ファイルあり、**評価表の見方はFILENo. 1**にあります。
評価一覧は、**FILENo. 1の整理番号順目次**をご覧ください。
ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

1 / 4

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
土木管理課	685		屋外広告物許可・取締
	697		建設工事統計調査
	698		がけ・擁壁改善資金融資
	699		道路認定改廃
	700		道路等の管理区域確定
	701		国有財産の移管
	702		占用・使用許可
	703		道路上工事調整協議会
	705		道路台帳整備
	749		道路掘さぐ復旧
建設課 (その1)	717		道路の路面改良
	718		浸透柵設置工事
	719		浸透地下埋管設置工事
	720		買物道路整備
	722		補助線街路第131号線
	723		補助線街路第226号線
	724		補助線街路第131号線電線共同溝敷設工事
	725		補助線街路第226号線(第 期)電線共同溝予備設計委託
	726		橋梁維持補修
	727		橋梁新設改良
	731		交通安全モデル地区整備計画
	752		水防応急対策
	753		水防訓練

次のページへ

建設課(その2)/交通対策課

次の次のページへ

維持課(その1)

最後のページへ

維持課(その2)

FILE No. 15
都市整備部

ファイルは全21ファイルあり、**評価表の見方はFILENo. 1**にあります。
 評価一覧は、**FILENo. 1の整理番号順目次**をご覧ください。
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

2 / 4

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
建設課 (その2)	754		テレメーターシステム維持管理
	755		雨水浸透施設設置工事への助成
	757		憩いの水辺創出
交通対策課	530		公共交通の計画 調整
	532		南北バス運行
	686		登録制置場等運営
	687		有料制駐車場運営
	688		放置自転車の撤去 返還 処分
	689		放置防止活動
	690		放置防止指導員 協力員
	691		民営自転車駐車場育成補助
	692		自転車等駐車対策協議会
	693		サイクルアクションプログラム策定
	694		(仮称)高円寺北自転車駐車場建設
	695		荻窪南第二自転車駐車場改築
	696		浜田山南自転車駐車場建設
	728		交通安全協会及び交通安全協議会に対する補助金 分担金
	729		交通安全啓発活動委託
730		交通安全啓発用品の購入と配布	

[前のページへ](#)

[次のページへ](#)

[次の次のページへ](#)

土木管理課 / 建設課 (その1)

維持課 (その1)

維持課 (その2)

FILE No. 15
都市整備部

ファイルは全21ファイルあり 評価表の見方はFILENo. 1にあります。
評価一覧は、FILENo. 1の整理番号順目次をご覧ください。
ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

3 / 4

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
維持課 (その1)	684		土木公園事務所管理運営 (庶務事務)
	704		占用 使用許可、取締
	706		雨水桝清掃
	707		舗装新設等工事
	708		排水設備工事助成
	709		雨水流出抑制対策 (私道)
	710		道路維持補修
	711		雨水流出抑制対策 (区道)
	712		昇降機維持運営
	713		道路等清掃
	714		水のみち維持補修
	716		駅前広場噴水維持管理
	732		交通安全施設維持補修
	733		道路反射鏡新設 改良
	734		警戒標識等新設 改良
	735		フラッシュアイ新設 改良
	736		地点名標識板新設 改良
	737		白線整備
	738		点字ブロック新設 改良
	739		すべり止め舗装
	740		防護柵の改良
741		立看板等	
742		街路灯維持補修	

前の前のページへ

前のページへ

次のページへ

土木管理課 / 建設課

交通対策課

維持課 (その2)

FILE No. 15
都市整備部

ファイルは全21ファイルあり 評価表の見方はFILENo. 1にあります。
評価一覧は、FILENo. 1の整理番号順目次をご覧ください。
ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

4 / 4

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
維持課 (その2)	743		街路灯新設
	744		街路灯改修
	745		民有灯補修
	746		電気料助成
	747		私道街路灯新設
	748		私道街路灯改修
	750		河川管理用通路維持補修
	751		河床維持管理
	756		排水場維持管理
	758		公共溝渠維持補修

[前のページへ](#)[前の前のページへ](#)[先頭のページへ](#)

維持課 (その1)

建設課 (その2) / 交通対策課

土木管理課 / 建設課 (その1)

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		屋外広告物許可・取締				整理番号	685		枝番号						
所属部課名		都市整備部土木管理課		コード	220701	連絡先電話番号	3203		昨年度整理番号	730					
係名		管理係			上位施策名				NO						
予算事業名		屋外広告物許可・取締		コード	59400		まちの景観づくり								
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 屋外広告物法第7条、第12条								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 東京都屋外広告物条例第2条の2 第5条の3 第5条の4 第11条										
	区内全域の屋外広告物設置者・管理者		(3) 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例第2条												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内全域の屋外広告物の許可事務及び違反広告物の除去事務				活動指標名(式)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		まちの美観風致を維持し、公衆に対する危害を防止する。				成果指標名(式)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		都市景観の重要な要素である広告物を適正に規制することにより、地域環境に調和した広告物を誘導する。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標(1)		件	201		216				203					
	活動指標(2)		件	30,140		30,571				14,761					
	成果指標(1)		%			107				94					
	成果指標(2)		%			101				48					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	41		27		54		47		54		特記事項	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	1.15		0.60		0.60		0.60		0.60			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	10,434		5,444		5,445		5,445		5,445		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	10,475		5,471		5,499		5,492		5,499			
	単位あたりコスト ÷		円	52,114		25,328				27,054					
	財源	受益者負担分		千円	6,261		7,433		7,630		6,547		7,624		
		国都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 +		千円	6,261		7,433		7,630		6,547		7,624		
差引:一般財源 -		千円	4,214		-1,962		-2,131		-1,055		-2,125				
受益者負担比率 ÷		%	59.8		135.9		138.8		119.2		138.6				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		屋外広告物の許可件数は過去3年間201件、216件、203件とほぼ横ばいで推移している。そのうち、新規の許可件数は、17件、29件、36件と若干増加しているが、全体に占める割合は僅かであり許可の大半は継続許可である。また、除去件数は、不動産業や金融業の違反広告物が増大し、除去作業が追いつかない状況である。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		区民から違法な立看板やはし紙、はし札がまちの美観をそこねていたり、安全性の面でも非常に不安であるとの指摘を受けることが多い。また、これらの違反広告物を自ら除去したいとの申し出もある。このような問題に対し、区独自の条例でまちをきれいにしてほしい、特に違反看板の除去をだれでもできるようにしてほしいといった内容の要望もある。												
	今後の予測		屋外広告物の許可件数は、継続申請が主なもので、ほぼ横ばいで推移すると思われる。違反広告物については、違反者と除去作業の繰り返しと予想される。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		建設工事統計調査				整理番号	697		枝番号				
所属部課名		都市整備部土木管理課		コード	220701		連絡先電話番号	3402		昨年度整理番号	741		
係名 管理係				上位施策名				NO					
予算事業名 建設工事統計調査				コード 60000		まちづくり施策の総合的推進				1			
事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				30 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成 年度		(1) 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例第2条							
対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				区内抽出建設工事業者		(2) 統計法第2条							
						(3) 建設工事統計規則							
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)								
	建設工事統計調査規則(昭和30年11月4日建設省令第29号)に基づいて、建設工事の完成工事高等の統計調査を行う。				(1) 統計調査依頼件数								
					(2)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)								
建設工事及び建設業者の実態を明らかにする。				(1) 統計調査回答件数									
				(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
国の建設行政、経済政策、財政政策に必要な基礎資料として幅広く利用している。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		件	791	628	706	706	730					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		件	687	466	706	441						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	238	252	255	252	255	特記事項				
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.50					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,629	3,629	3,630	3,630	4,538					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	3,867	3,881	3,885	3,882	4,793					
	単位あたりコスト ÷		円	4,889	6,180	5,503	5,499	6,565					
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円	238	252	255	252	255				
		特定財源計 +		千円	238	252	255	252	255				
差引:一般財源 -		千円	3,629	3,629	3,630	3,630	4,538						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		調査票がOCR用紙に変更した程度であり調査自体に大きな変化はない。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		特になし										
	今後の予測		統計法に基づく調査を委任されている事業のため、区として今後の予測はできない。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		がけ・擁壁改善資金融資				整理番号	698		枝番号						
所属部課名		都市整備部土木管理課		コード	220701		連絡先電話番号	3403		昨年度整理番号	742				
係名		管理係				上位施策名			NO						
予算事業名		がけ・擁壁改善資金融資		コード	60200		災害に強い都市の形成			9					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		54 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区がけ及び擁壁改善資金融資あつせん条例								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区がけ及び擁壁改善資金融資あつせん条例施行規則										
	一般通行の用に供されている区内の道路に面する危険ながけ・擁壁の所有者で一定の資格要件を備えた者。		(3)												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		危険ながけ・擁壁を改善するための資金の融資をあつせんし、利子の一部を補給する。		活動指標名 (式)										
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		危険ながけ・擁壁を改善することにより、地震等による被害の軽減を図るとともに公衆の安全な通行を確保する。		(1) 利子補給事務取り扱い件数										
				(2)											
				成果指標名 (式)											
				(1) 利子補給事務取り扱い件数前年度比率											
				(2)											
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
		災害に強い快適な住環境に貢献する。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標 (1)		件	23		18				16					
	活動指標 (2)														
	成果指標 (1)		%			78				89					
	成果指標 (2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	26,433		26,321		381		241		302		特記事項	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0			
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.40		0.20		0.20		0.20		0.15			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,629		1,815		1,815		1,815		1,361		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	30,062		28,136		2,196		2,056		1,663			
	単位あたりコスト ÷		円	1,307,052		1,563,089				128,500					
	財源	受益者負担分		千円											
		国 都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	30,062		28,136		2,196		2,056		1,663				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		開始当初と比較し金利が著しく低下している(昭和56年度8.7%、平成13年度1.85%)ため利用者は少なく、平成8年度を最後に実績はない。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)														
	今後の予測		融資の利率が現在のまま低金利で推移するならば、融資あつせん制度を利用しないで自己資金で改善していくケースが多くなると思われる。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路認定改廃				整理番号	699		枝番号		
所属部課名		都市整備部土木管理課		コード	220704	連絡先電話番号	3404		昨年度整理番号	743	
係名		道路管理情報係				道路交通体系の整備			NO		
予算事業名		道路認定改廃		コード	57500		道路交通体系の整備			5	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		28年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 道路法 8条、9条、10条、16条、18条				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 国有財産法第 8条						
	区が管理する道路・水路及び道路等利用者及び土地所有者		(3) 杉並区公共溝渠管理条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区が管理する道路・水路の認定、変更、廃止				活動指標名(式)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		区が管理する道路・水路を適正に管理し体系的な道路網の構築を図る。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民の暮らしと環境が調和するまちの実現に向け、安全で快適な道路網の構築									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		件	161	631		282				
	活動指標(2)		m ²	6,997	7,441		17,918				
	成果指標(1)		m ²	3,410,399	3,417,840		3,435,758				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	24,875	18,982	4,474	3,540	588		特記事項	
	(内)委託費		千円		17,850	0	16,392	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	5.00	5.35	4.75	4.75	4.75			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	45,375	48,551	43,106	43,106	43,106			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	70,250	67,533	47,580	46,646	43,694			
	単位あたりコスト ÷		円	436,335	107,026		165,412				
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	70,250	67,533	47,580	46,646	43,694				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		宅地化の進行に伴い、敷地の細分化と小規模な道路の出現。 都市計画法の開発行為許可に伴う整備された区有道路の帰属が増加。 公道幅員4.0m未満の建築基準法上の道路後退事業に伴う道路拡幅件数の増加。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		私道の土地所有者からの寄付の要望が多い。 私道の寄付を受ける場合、測量図の作成等、寄付手続きに寄付者の費用負担が大きい。								
	今後の予測		道路等の国有地が杉並区へ譲与されることにより 交換・用途廃止の事務が増加することが見込まれる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路等の管理区域確定				整理番号	700		枝番号				
所属部課名		都市整備部土木管理課		コード	220704	連絡先電話番号	3407		昨年度整理番号	744			
係名		区域調査係		上位施策名				NO					
予算事業名		道路等の管理区域確定		コード	60800		道路交通体系の整備		5				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		4 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期		○ 無 ○ 有		平成 年度		(1) 道路法第18条、28条、97条						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 地方自治法第2条第3項								
	区が管理する全ての道路・水路及びこれに隣接する土地の所有者・利用者		(3) 杉並区公共溝渠条例										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		道路・水路の管理区域の調査・測量委託による道路管理情報の精度向上化、境界・区域の確認申請の立会・協議及び証明書の発行		活動指標名(式)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		道路・水路の管理区域が明確となり道路管理情報の迅速で効率的な提供を進め、道路・水路の適正利用を図るとともに、住民の土地利用に寄与する。		成果指標名(式)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		まちづくりの根幹となる道路・水路の適正な利用が図られ、くらしと環境が調和したまちの実現につながる。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		件	366	311	330	313	580					
	活動指標(2)		m	4,800	2,421	3,000	3,114	3,000					
	成果指標(1)		件	1,547	988	1,230	920	1,500					
	成果指標(2)		件	43.00	37.00	140.00	123.00	200.00					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	34,553	2,845	4,721	4,607	16,738		特記事項			
	(内)委託費		千円	2,694	2,842	2,060	2,059	14,523					
	職員数(正規 非常勤)		人	7.00	0.00	7.60	0.00	12.13	0.00	12.25	0.00	13.25	1.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	63,511	68,955	110,080	111,169	120,244				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	2,966				
	総事業費 ++		千円	98,064	71,800	114,801	115,776	139,948					
	単位あたりコスト ÷		円	267,934	230,868	347,881	369,891	241,289					
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	98,064	71,800	114,801	115,776	139,948						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		宅地の細分化、土地登記事務の精度向上化、地方分権推進計画による国有土地財産(道路・水路)の区への譲与など管理区域の明確化の重要性が高まっている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		道路・水路の境界・区域確認の経費の多くは、区民の負担であり、管理区域明確化の要望は多い。										
	今後の予測		地法分権一括法に施行により、平成16年度までの3年で道路・水路等、国有土地財産の譲与が、行われる。このため境界確定事務の大幅な増加が見込まれる。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国有財産の移管				整理番号	701		枝番号					
所属部課名		都市整備部土木管理課		コード	220707		連絡先電話番号	3414		昨年度整理番号	745			
係名				国有財産移管担当				上位施策名			NO			
予算事業名				国有財産の移管				コード	57650		道路交通体系の整備			
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				○ 無 ● 有		平成 16 年度		(1) 地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 国有財産特別措置法第5条第1項第5号					
									(3) 道路法第90条第2項					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				地方分権の推進を図るための関係法律の整備に関する法律 (地方分権一括法) の施行により、水路・道路等の国有土地財産を調査・特定し国から譲与を受ける。				活動指標名 (式)					
									(1) 国から譲与を受けた水路・道路等の延長					
								(2) 国有水路・道路等の調査特定作業の延長						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				水路・道路等の国有財産の調査を行い、譲与を受け、区は水路・道路等の機能、財産管理を一体的に行うこととなり、区の主体的な道路交通体系の整備に寄与する。				成果指標名 (式)						
								(1) 国から譲与を受けた水路・道路等の延長 ÷ 区内の譲与対象国有財産水路・道路等の延長						
								(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
区が主体的に道路交通体系の整備を図ることにより、くらしと環境が調和したまちづくりの実現につながる。														
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%				
					計画	実績		16年度	年度					
指標	活動指標 (1)		km		0	220	256	230	640	40.0				
	活動指標 (2)		km		90	310	310	120	640	48.4				
	成果指標 (1)		km		0	34	40	38	100	40.0				
	成果指標 (2)		km											
総事業費・コスト把握	事業費		千円		919	1,095	1,095	10,864	特記事項					
	(内)委託費		千円					10,000	平成12年度は区内全域の資料調査を行い、譲与は平成13年度から開始した。					
	職員数 (正規 非常勤)		人		0.82	2.00	2.00	2.00						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	7,440	18,150	18,150	18,150					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	0	8,359	19,245	19,245	29,014						
	単位あたりコスト ÷		円			87,477	75,176	126,148						
	財源	受益者負担分		千円										
		国 都等からの支出金		千円			5,602	5,602	6,041					
		特定財源計 +		千円	0	0	5,602	5,602	6,041					
差引:一般財源 -		千円	0	8,359	13,643	13,643	22,973							
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0							
が	開始当初から現在までの変化		本事業は、地方分権一括法の施行により平成12年度から開始した。尚、国有土地財産の譲与は平成12年度から平成16年度までの5年間でこなすとされている。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		水路・道路等の国有土地財産が区へ譲与されることにより、区が主体的にまちづくりに係ることとなるため、住民の期待が大きい。											
	今後の予測		水路・道路等の国有土地財産が順次区へ譲与されることにより、台帳整備・境界確定等、財産管理事務が大幅に増加する。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		占用・使用許可			整理番号	702		枝番号	
所属部課名 都市整備部土木管理課				コード	220701	連絡先電話番号	3402	昨年度整理番号	746
係名 管理係				上位施策名				NO	
予算事業名 占用・使用許可取締				コード	61000		道路交通体系の整備		5
事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				35 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成 年度		(1) 道路法第16条、第32条、第33条、第39条、第40条、第71条			
対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区区有通路条例					
区の管理する道路、河川、公共溝渠に接する建物、土地所有者並びに公益企業者等				(3) 杉並区公共溝渠条例					
				(4) 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例第2条					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)					
区道、区有通路、河川、公共溝渠の占使用許可事務・道路占用料、河川、公共溝渠使用料徴収事務				(1) 道路、区有通路、河川、公共溝渠占 使用申請件数					
				(2) 道路、区有通路、河川、公共溝渠占 使用料					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)					
道路、区有通路、河川、公共溝渠の適正な占・使用を行い、道路等の占用面積に応じて適正な占・使用料を徴収する。				(1) 道路、区有通路、河川、公共溝渠占 使用許可件数前年度比率					
				(2) 道路、区有通路、河川、公共溝渠占 使用料徴収額前年度比率					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				道路等が適正に利用されることにより、安全で快適なまちづくりに貢献する。					

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	件	5,930	7,294		6,613				
	活動指標(2)	千円	663,127	674,155	781,147	787,891	783,545			
	成果指標(1)	%		123		91				
	成果指標(2)	%		102		117				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	479	1,110	9,761	9,383	8,500	特記事項		
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)	人	7.00	6.75	6.75	6.75	5.75			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	63,511	61,243	61,256	61,256	52,181		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++	千円	63,990	62,353	71,017	70,639	60,681			
	単位あたりコスト ÷	円	10,791	8,548		10,682				
	財源	受益者負担分	千円	663,127	674,155	781,147	787,891	783,545		
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0		
		特定財源計 +	千円	663,127	674,155	781,147	787,891	783,545		
差引:一般財源 -		千円	-599,137	-611,802	-710,130	-717,252	-722,864			
受益者負担比率 ÷	%	1036.3	1081.2	1099.9	1115.4	1291.2				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	建築工事等による占用工事及びガス等の老朽化による企業工事は、若干減少したが、水道管の入れ替え工事及びIT化に伴う工事が増加している。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	道路等の占 使用申請にあたり 申請手続きの煩雑さから様式の簡素化・インターネットによる用紙入手等も期待されている。 また、道路等の適正な使用を望む声が数多く寄せられている。								
	今後の予測	建築工事及び公益企業の耐用年数に伴う占用工事並びに公益企業の安全対策等の占用工事及びIT化に伴う工事は、今後も増大すると予測される。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路上工事調整協議会				整理番号	703		枝番号			
所属部課名		都市整備部土木管理課		コード	220701	連絡先電話番号	3413		昨年度整理番号	747		
係名 道路調整担当係					上位施策名				NO			
予算事業名		占用・使用許可取締		コード	61000		道路交通体系の整備			5		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 47 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 道路法 第 34条							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区、水道局、下水道局、東京電力、NTT等の企業等が区道で行う、延長 20m以上の工事。				(2) 杉並区道路上工事調整協議会設置要綱							
					(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 対象となる工事の予定を道路管理システムに登録し、関連する工事と施工時期や工事方法を調整する。				活動指標名(式)							
				(1) 工事件数 653 件								
				(2) 競合調整件数 92 件								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 区道上で行われる工事を調整することにより、工事件数を減らしたり工事期間を短縮したりする。				成果指標名(式)								
				(1) システム登録 前年度比率 653÷597= 1.09%								
				(2) 競合調整比率 92÷653= 0.14%								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 区道上の工事の適正化を図ることにより、安全で快適なまちづくりに貢献する。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標(1)		件	499	597		653					
	活動指標(2)		件	190	209		92					
	成果指標(1)		件	499	597		653					
	成果指標(2)		件	190.00	209.00		92.00					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	110	145	195	184	161	特記事項			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	6,351	6,351	6,353	6,353	6,353				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	6,461	6,496	6,548	6,537	6,514				
	単位あたりコスト ÷		円	12,948	10,881		10,010					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0			
		国 都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	6,461	6,496	6,548	6,537	6,514					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		年間約250件前後の工事件数が、11年度から増加している。水道、電力、通信の需要増に加え、水道水質対策、震災対策や老朽化対策、IT関連の新規事業が原因となっている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		夜間工事の騒音、振動に対する苦情や、年末、年度末に集中する工事による交通渋滞に対する苦情等が多くなっている。									
	今後の予測		12年度より3年事業の水質基準の変更に伴う鉛管のステンレス化が14年度で終了することにより、今後水道工事は減少するが、地下埋設管の震災対策や老朽化対策は増加の傾向にある。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路台帳整備				整理番号	705		枝番号						
都市整備部土木管理課		コード	220704		連絡先電話番号	3404		昨年度整理番号	749						
係名		道路管理情報係				NO									
予算事業名		道路台帳整備		コード	57750		道路交通体系の整備		5						
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		28 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 道路法第28条 (2) 杉並区公共溝渠条例 (3) 測量法第32条								
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区が管理する道路・水路及び道路等利用者・道路等沿道土地権利者												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		道路等の管理情報の提供と、道路台帳等の適正な保全、管理				活動指標名 (式) (1) 道路台帳の閲覧、相談件数 (2) 道路台帳の補正規模 (平面図補正延長 + 調書補正延長)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		質の高い道路台帳を整備することにより、道路管理情報の迅速で効率的な閲覧の実現を図る				成果指標名 (式) (1) 対前年度道路台帳の閲覧、相談件数比 (2) 道路台帳の補正規模 (平面図補正延長 + 調書補正延長)								
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		道路管理情報を充実することにより、沿道等の適正で計画的な土地利用進み、良好な住環境が図られる												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標 (1)		件	17449		19026		22125							
	活動指標 (2)		m	16315		13519		9547							
	成果指標 (1)		%	98		109		116							
	成果指標 (2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	16,877		16,088		7,922		7,581		13,680		特記事項	
	(内)委託費		千円	8,198		7,817		7,578		7,238		12,544			
	職員数 (正規 非常勤)		人	5.00	1.00	5.75	1.00	4.25	1.00	4.25	1.00	4.25	1.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	45,375		52,181		38,569		38,569		38,569		
		非常勤職員分		千円	2,966		2,966		2,966		2,966		2,966		
	総事業費 + +		千円	65,218		71,235		49,457		49,116		55,215			
	単位あたりコスト ÷		円	3,738		3,744				2,220					
	財源	受益者負担分		千円	629		593		590		608				
		国 都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	629		593		590		608		0		
差引:一般財源 -		千円	64,589		70,642		48,867		48,508		55,215				
受益者負担比率 ÷		%	1.0		0.8		1.2		1.2		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		・道路台帳関係資料は、昭和40年代に全区域の平面図と埋設台帳を作成したものを、逐次補正し、使用してきたが、土地利用の高度化が進んだ現在においては、より質の高い資料が求められている ・土地の利用に関わる沿道土地所有者等の相談件数が増加している ・沿道土地の細分化、土地高度利用に伴い閲覧件数が増加している。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		・土地利用の細分化や、土地利用等に際しての道路に関する情報の需要が、質的にも量的にも高まっている。 ・道路区域内における私有土地の区域及び土地面積の明確化の要請												
	今後の予測		・道路台帳の閲覧の迅速化及び質的向上がさらに求められることが予想される												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路掘さく復旧				整理番号	749		枝番号		
所属部課名都市整備部土木管理課				コード	220701	連絡先電話番号	3402		昨年度整理番号	799	
係名 管理係					上位施策名				NO		
予算事業名 道路掘さく復旧					コード	65200		道路交通体系の整備			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 35 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 道路法第62条						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 道路占用工事の各企業者				(2) 杉並区特別区道道路占用規則第17条						
					(3) 杉並区道路占用工事要綱第3条						
	道路の占用に関する掘さく工事の復旧費及び監督事務費の徴収事務 占用申請 工事監督 竣工立会い 復旧費等清算 (管理係) (土木事務所) (管理係)				活動指標名(式) (1) 企業者に対する道路掘さく復旧方法の協議件数 道路掘さく復旧協議面積 (2)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 企業者に対する道路掘さく復旧方法の協議				(1) 企業者に対する道路掘さく復旧方法の協議件数前年度比率 (2) 道路掘さく復旧協議面積前年度比率						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 道路復旧工事の適正化を図ることにより、安全で快適なまちづくりに貢献する。											
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	件	6,802	5,672		5,880					
	活動指標(2)	m ²	84,752	83,160		89,691					
	成果指標(1)	%		83		104					
	成果指標(2)	%		98		108					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	727	24,690	24,813	24,675	25,147	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	6,805	6,805	6,806	6,806	6,806			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	7,532	31,495	31,619	31,481	31,953			
	単位あたりコスト ÷		円	1,107	5,553		5,354				
	財源	受益者負担分		千円	72,581	92,064	92,284	125,456	102,497		
		国 都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0		
		特定財源計 +		千円	72,581	92,064	92,284	125,456	102,497		
差引:一般財源 -		千円	-65,049	-60,569	-60,665	-93,975	-70,544				
受益者負担比率 ÷		%	963.7	292.3	291.9	398.5	320.8				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		道路の占用申請許可事務のオンライン化によって、申請及び許可並びに復旧費及び監督事務費が自動計算され、事務の効率化及び迅速化が図られた。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		道路の占用工事、復旧工事の状況について、占用工事者及び道路復旧施工時期等の問い合わせが多く寄せられている。								
	今後の予測		水道ステンレス管への切り替えやガス管の取替え等で、件数増が見込まれる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路の路面改良				整理番号	717		枝番号		
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221007	連絡先電話番号	3426		昨年度整理番号	761	
係名 設計係				上位施策名				NO			
予算事業名		道路の路面改良		コード	58150	道路交通体系の整備				5	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 28 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 地方自治法第281条2項						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 道路法第16条1項 42条1項						
	全面改良する道路・道路利用者(通過車両・通行者)・沿道住民				(3)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 老朽化した道路の全面改良を行う。				活動指標名(式) (1) 年度毎 路面改良整備面積 (2) 路面改良整備累積面積(平成6年度～)						
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 老朽化した路面を改良することにより、通行者の安全や歩き易さを図るとともに騒音、振動等を低減し、沿道の居住環境の改善を図る。				成果指標名(式) (1) 年度毎 路面改良整備実績÷実施計画量(単年度) (2) 路面改良整備累積面積(平成6年度～)÷平成17年度までの累積面積							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 快適な交通環境の確保と沿道の居住環境の改善											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績		17年度			
指標	活動指標(1)		m ²	34,903	36,025	30,864	31,912	24,594	40,000	79.8	
	活動指標(2)		m ²	213,289	249,314	280,178	281,226	305,820	425,820	66.0	
	成果指標(1)		%	116.3	120.1	102.9	106.4	82	100	106.4	
	成果指標(2)		%	50.09	58.55	65.80	66.04	71.82	100.00	66.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	598,829	456,085	542,575	496,224	423,579	特記事項 14年度 30,000m ² /年 15年度以降 40,000m ² /年		
	(内)委託費		千円	23,688	21,578	21,523	19,898	19,674			
	職員数(正規 非常勤)		人	16.21	16.41	8.72	8.07	8.60			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	147,073	148,888	79,134	73,235	78,045			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	745,902	604,973	621,709	569,459	501,624			
	単位あたりコスト ÷		円	21,371	16,793	20,144	17,845	20,396			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円	25,150	16,744	18,229	38,694			24,223
		特定財源計 +		千円	25,150	16,744	18,229	38,694			24,223
差引:一般財源 -		千円	720,752	588,229	603,480	530,765	477,401				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		交通量の増加、車両の大型化等により、道路の老朽化は激しい。また、福祉のまちづくりの観点より、拡充の必要が生じている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)		道路の老朽化による、騒音、振動や水溜りを至急直して欲しい。段差等を解消してほしい。路面に穴があいて危険なので改修して欲しい。								
	今後の予測		現在の事業量のまま推移すると、将来、積み残された事業が累積し、道路の管理上も大きな支障になるとともに、財政的にも大きな負担となってくることが予想される。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		浸透樹設置工事				整理番号	718		枝番号			
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221007	連絡先電話番号	3426		昨年度整理番号	762		
係名 設計係				上位施策名				NO				
予算事業名 道路の路面改良整備				コード		62400		水害対策の推進				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 3年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区雨水流出抑制対策要綱							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 道路の路面改良工事を施工する道路・水害を受ける地域				(2)							
					(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 道路の路面改良工事の際に、雨水を地下に浸透させる施設である浸透樹を設置する。				活動指標名(式)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 雨水を地下に浸透させることにより、河川への流入量を抑制する。				成果指標名(式)								
				(1) 年度毎 浸透樹設置箇所数								
				(2) 浸透樹設置累積箇所数(平成6年度～)								
				(1) 年度毎 時間あたりの浸透量								
				(2) 時間あたりの累積浸透量								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 大雨による雨水の下水道管への流入量を浸透施設の設置により減らせる。また、地下水の保全や地盤沈下の防止、緑の育成・保護に役立つ。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			17年度	
指標	活動指標(1)		箇所	109	89	140	130	140	140	140	92.9	
	活動指標(2)		箇所	728	817	957	947	1087	1507	62.8		
	成果指標(1)		? / h	76.3	62.3	98	91	98	98	92.9		
	成果指標(2)		? / h	509.6	571.90	669.90	662.90	760.90	1054.90	62.8		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	25,261	13,277	26,460	21,356	16,800	特記事項			
	(内)委託費		千円							浸透量0.7? /h/個		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.68	0.49	0.44	0.34	0.34				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,170	4,446	3,993	3,086	3,086			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + + +		千円	31,431	17,723	30,453	24,442	19,886				
	単位あたりコスト ÷		円	288,354	199,132	217,521	188,012	142,039				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	31,431	17,723	30,453	24,442	19,886					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		他の治水対策として神田川、環状七号線地下調節池や、和田弥生幹線地下道工事などの整備も進んでいるが、いまだ、水害の発生する地域はあり 総合治水の一環として、雨水の流出を抑制する必要である。また、地下水の涵養や緑勢の回復にも役立っている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		住民の意見を直接受けることは少ないが、河川改修も未だ完了せず、水害は、発生している状況である。									
	今後の予測		総合治水対策の一環として、流域対策(雨水浸透施設設置)を時間当たり10ミリを目標として積極的に推進する。また、雨水循環による自然環境保全に効果的であるため、事業を進めて行く必要がある。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		浸透地下埋管設置工事				整理番号	719		枝番号				
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221007	連絡先電話番号	3426		昨年度整理番号	763			
係名		設計係				上位施策名			NO				
予算事業名		道路の路面改良		コード	58150	水害対策の推進			10				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		3 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区雨水流出抑制対策要綱						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)								
	道路の路面改良工事を施工する道路・水害を受ける地域		(3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		道路の路面改良工事の際に雨水を地下に浸透させる施設である浸透地下埋管を設置する。				活動指標名(式)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		雨水を地下に浸透させることにより、河川への流入量を抑制する。				成果指標名(式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		大雨による雨水の下水道管への流入量を浸透施設の設置により減らせる。また、地下水の保全や地盤沈下の防止、緑の育成・保護に役立つ。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績		17年度			
指標	活動指標(1)		m	66	50	100	68	100	100	100	68.0		
	活動指標(2)		m	486	536	636	604	704	1004	60.2			
	成果指標(1)		? /h	43.56	33	66	44.88	66	66	68.0			
	成果指標(2)		? /h	320.76	353.76	419.76	398.64	464.64	662.64	60.2			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,577	953	6,800	2,184	3,400	特記事項 浸透量 0.66? / h/m				
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.06		0.02		0.11		0.06		0.06	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	544	181	998	545	545				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + + +		千円	3,121	1,134	7,798	2,729	3,945					
	単位あたりコスト ÷		円	47,294	22,689	77,983	40,125	39,445					
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	3,121	1,134	7,798	2,729	3,945						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		他の治水対策として神田川、環状七号線地下調節池や、和田弥生幹線地下道工事などの整備も進んでいるが、いまだ、水害の発生する地域はあり 総合治水の一環として、雨水の流出を抑制する必要である。また、地下水の涵養や緑勢の回復にも役立っている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		住民の意見を直接受けることは少ないが、河川改修も未だ完了せず、水害は、発生している状況である。										
	今後の予測		総合治水対策の一環として、流域対策(雨水浸透施設設置)を時間当たり10ミリを目標として積極的に推進する。また、雨水循環による自然環境保全に効果的であるため、事業を進めて行く必要がある。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		買物道路整備				整理番号	720		枝番号		
所属部課名			都市整備部建設課		コード	連絡先電話番号	昨年度整理番号		764		
係名					設計係		上位施策名			NO	
予算事業名					ふれあい道路の整備		コード	58250		5	
事業開始年度					<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		59年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
事業終期					<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 地方自治法第281条2項 (2) 道路法第16条1項 (3) 杉並区商店街カラー舗装取扱要綱		
対象					<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		買物道路(商店街)の利用者及び商店会				
事務事業の概要	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名(式)					
	老朽化した道路の改良工事に併せ、商店街の要望により、カラー舗装化を行う。その際、カラー化費用の一部を商店街に補助する。					(1) 年度毎 買物道路整備延長 (2) 買物道路累積整備延長					
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名(式)					
	安全で快適に買物のできる空間を作り、商店街のイメージアップを図る。					(1) 年度毎 買物道路整備率(実施計画÷実績) (2) 買物道路整備達成率(累積整備延長÷目標値)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
都市美観を向上させ、商店街振興に寄与する。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		17年度			
指標	活動指標(1)		m	328	216	895	878	248	1120	78.4	
	活動指標(2)		m	7172	7,388	8283	8,266	8,514	9,634	85.8	
	成果指標(1)		%	100	102.9	100	98.1	100	100	98.1	
	成果指標(2)		%	74.44	76.69	85.98	85.80	88.37	100.00	85.8	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	58,609	28,612	128,647	121,468	60,227	特記事項 13年度 西荻 745m 西永福 133m 14年度 高円寺 248m 15年度 阿佐谷 360m 17年度 永福 760m		
	(内)委託費		千円	1,785	2,152	989	945	1,296			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.50	1.02	2.05	1.98	1.23			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	13,610	9,254	18,604	17,969	11,162			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	72,219	37,866	147,251	139,437	71,389			
	単位あたりコスト ÷		円	220,178	175,308	164,526	158,812	287,860			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	72,219	37,866	147,251	139,437	71,389				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		大規模店舗出店規制法の改正により、大規模店の出店が進んでいる。これにより、従来からの商店街は衰退してきている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)		商店街のカラー舗装化の要望は、寄せられている。								
	今後の予測		本事業は商店街の活性化にとって重要であるため、今後も引き続き要望が寄せられると思われる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		補助線街路第131号線				整理番号	722		枝番号			
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221010		連絡先電話番号	3428		昨年度整理番号	767	
係名 施設整備係				上位施策名				NO				
予算事業名		補助線街路第131号線		コード		道路交通体系の整備				5		
事務事業の概要	事業開始年度 ○ 昭和 ● 平成 2年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 ○ 無 ● 有 平成 16年度				(1) 都市計画法第59条							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 道路法							
	すべての当該道路利用者 当該道路沿道の居住者				(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 14年度までに用地取得を終了する予定であるが困難な状況にある。事業を早期に完了するため、用地取得と平行して事業認可区間について14から16年度に道路拡幅及び、南北歩行者アクセス路の整備を行う。				活動指標名(式)							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 道路を拡幅することにより、沿道の住環境と防災性能を向上する。また、歩行者・車両を分離し相互通行とすることにより、地域を含めた交通安全の向上、並びにターミナル機能の増進を図る。				成果指標名(式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 荻窪駅南側周辺地区において、より安全で快適な交通環境を提供する。また、同時に日照通風など住環境と防災性能の向上を図り、良好な住環境と都市機能が調和したまちの創出を図る。												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績			16年度			
指標	活動指標(1)		回	39	48	40	70	40				
	活動指標(2)		箇所	0	0	0	0	1		4	0.0	
	成果指標(1)		%	88	88	0	83	100		100	83.0	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	284,957	23,032	154,792	124,018	704,508		特記事項		
	(内)委託費		千円	12,472	1,879	13,167	16,133	12,369		目標値は 期・期を含む目標値に対する12年度の達成率の活動指標(1)と成果指標(1)は (1173.95㎡)/期目標値(1327.04㎡)とし、13年度以降は目標値を 期分も含め(1524.17㎡)とした 活動指標 13年度累計用地取得面積 1264.44㎡ 今年度より指標変更。13年度累計工事実績 0箇所		
	職員数(正規 非常勤)		人	5.59	5.67	5.72	5.78	4.90				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	50,718	51,444	51,909	52,454	44,468				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	335,675	74,476	206,701	176,472	748,976				
	単位あたりコスト ÷		円	8,607,053	1,551,581	5,167,525	2,521,021	18,724,388				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円	57,201	3,406	18,228	29,410	179,695			
		特定財源計 +		千円	57,201	3,406	18,228	29,410	179,695			
差引:一般財源 -		千円	278,474	71,070	188,473	147,062	569,281					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		荻窪地域は、区内最大の商業・業務集積地であり、また、荻窪駅は交通拠点である。本路線は荻窪南口に位置し、現道が狭いため交通形態は一方通行で歩車道は分離されていない。この状況は平成16年度の事業完了まで変化しない。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		南北歩行者アクセス路を含め、当該計画道路の早期整備完了を望む声がある。									
	今後の予測											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		補助線街路第226号線				整理番号	723		枝番号			
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221010	連絡先電話番号	3428		昨年度整理番号	768		
係名 施設整備係				上位施策名				NO				
予算事業名		都市計画道路		コード	63200	道路交通体系の整備				5		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 6年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 13年度				(1) 都市計画法第59条							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 すべての当該道路利用者 当該道路沿道の居住者				(2) 道路法							
					(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 平成12年度までに用地取得が完了した。平成13年度中に道路新設および拡幅整備を完了し供用を開始(平成13年7月)した。				活動指標名(式)							
					(1) 街路(道路)の築造延長 (2) 用地取得折衝回数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 道路を拡幅することにより、沿道の住環境と防災性能を向上する。また、歩車を分離することにより環7から高円寺駅周辺への安全なアクセス路を整備し、地域を含めた交通安全の向上を図る。				成果指標名(式)								
				(1) 道路の築造率 = 築造延長 / 計画延長 (2) 用地取得率 = (取得面積 / 事業面積) × 100								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高円寺南地区において、より安全で快適な交通環境を提供する。また、同時に日照通風など住環境と防災性能の向上を図り、良質な住環境と都市機能が調和したまちの創出を図る。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績		13年度		
指標	活動指標(1)		m	0	140	80	80	0	0	220		
	活動指標(2)		回	98	0	0	0	0	0			
	成果指標(1)		%	0	63.6	100	100	0	0	100		
	成果指標(2)		%	98	100	0	0	0	0	100		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	570,842	203,361	35,945	35,945	0	0	特記事項		
	(内)委託費		千円			0	0	0	0	活動指標(1)の目標値は累計の数値。		
	職員数(正規 非常勤)		人	3.48	3.48	0.24	0.46					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	31,574	31,574	2,178	4,175	0	0			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	602,416	234,935	38,123	40,120	0	0			
	単位あたりコスト ÷		円		1,678,107	476,538	501,494					
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円	57,201	37,412	5,392	9,045				
		特定財源計 +		千円	57,201	37,412	5,392	9,045	0	0		
差引:一般財源 -		千円	545,215	197,523	32,731	31,075	0	0				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		本路線の存する地域は骨格道路が未整備であった。自動車交通は狭い生活道路や通学路にまで流入し、地区の居住環境に大きな影響を与えていたが、事業完了(平成13年7月)に伴い、地域交通を支える道路としての安全確保と住環境の向上が図れた。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		当初は早期の街路(道路)整備完了について、要望が多数寄せられていた。									
	今後の予測		平成13年7月、整備を完了し供用を開始した。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		補助線街路第131号線電線共同溝敷設工事				整理番号	724	枝番号			
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221010	連絡先電話番号	3428	昨年度整理番号	769		
係名 施設整備係				上位施策名				NO			
予算事業名 都市計画道路				コード				道路交通体系の整備			
事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 8年度 事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 16年度 対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 すべての当該道路利用者（電線類の管理者を含む） 当該道路周辺の居住者				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 電線共同溝の整備に関する特別措置法 (2) 都市計画法第59条 (3) 道路法							
事務事業の概要	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名（式）						
	区は電線類の管理者より一定の負担額を徴収し、道路下に「電線共同溝」を敷設する。（さらに、道路管理者が一定の支障移設費用負担を行うことにより、電線類等の管理者は電線共同溝設置前に支障となる占用物の移設を行ない、電線管理者は電線共同溝設置後に電線共同溝へ入線し、その後不要になった電線・電柱の除去を行なうことで地中化が完了する。）				(1) 電線共同溝敷設延長 (2)						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 架空線の地中化により、電柱等をなくし、歩道幅員の拡大と防災性能・景観を向上する。また、通信インフラ等の整備増進と道路の掘り返しを減少する。これにより、より一層安全で快適な交通・通信・住環境等を提供する。				成果指標名（式） (1) 架空線の地中化延長 (2)						
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 主要生活道路として、また杉並の主要駅として、これにふさわしい街路・交通拠点を形成し、地域の活性化・通信・防災・交通機能の増進を図る。										
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		16年度			
指標	活動指標(1)		m	0	190	230	230	32	550	76.4	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		m	0	0	190	190	0	550	34.5	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,400	36,435	59,850	69,217	11,252	特記事項		
	(内)委託費		千円	8,400	0	0	0	0	16年度目標値は第1期分のみとした。 14年度計画活動指標(1)は第2期分27mは含まない。		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.71	0.79	0.96	1.16	0.60			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,442	7,168	8,712	10,527			5,445
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++		千円	14,842	43,603	68,562	79,744	16,697			
	単位あたりコスト ÷		円		229,488	298,096	346,713	521,781			
	財源	受益者負担分		千円		1,531	2,394	2,288			220
		国都等からの支出金		千円		21,731	31,478	38,225			1,874
		特定財源計 +		千円	0	23,262	33,872	40,513			2,094
差引:一般財源 -		千円	14,842	20,341	34,690	39,231	14,603				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	3.5	3.5	2.9	1.3				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		従来より、架空線の地中化については道路景観、防災上の観点から要望が高かったが、全国レベルでは国のITインフラ整備施策が大幅な拡大をみている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		道路景観や防災上の観点から、架空線の地中化に対する要望は高まっている。また、当該計画道路関連工事について早期の整備完了を望む声がある。								
	今後の予測		用地取得が完了した箇所への電線共同溝敷設工事を順次完了していく予定である。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		補助線街路第226号線(第 期)電線共同溝予備設計委託				整理番号	725	枝番号			
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221010	連絡先電話番号	3428	昨年度整理番号	770		
係名 施設整備係				上位施策名				NO			
予算事業名		都市計画道路		コード	63200	道路交通体系の整備					
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 13 年度				(1) 電線共同溝の整備に関する特別措置法						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 都市計画道路補助第226号線(概成区間:高円寺南4-7~4)の利用者及び周辺の居住者				(2)						
					(3)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) より安全で快適な交通・通信・住環境等を提供するため、道路上の電線類を歩道内に埋設(無柱化)するための設計を委託した。				活動指標名(式) (1) 設計延長 640m						
					(2)						
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 電線類の地中化を行うために必要な調査・設計等を、専門性を有するコンサルタントに委託することにより事務能率化を図り、該当路線の景観、防災機能の向上を早期に図る。				成果指標名(式) (1) (代)設計委託により賄った人数							
				(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 本委託を実施したことにより、専門技術が生かされ、早期且つ正確な設計が行われた。											
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度	年度			
指標	活動指標(1)	m	0	0	640	640	0				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	人	0	0	61	61	0				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	0	5,900	5,775	0	特記事項 都市計画道路補助第226号線の概成区間にある架空線を地中化する事業計画を第1期とした。		
	(内)委託費		千円	0	0	5,900	5,775	0			
	職員数(正規 非常勤)		人			0.10	0.12				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	908	1,089	0			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	6,808	6,864	0			
	単位あたりコスト ÷		円			10,637	10,725				
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0	
差引:一般財源 -		千円	0	0	6,808	6,864	0				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		電線共同溝構造規格に基づき、適切な設計が行われた。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		道路景観や防災上の観点から、架空線の地中化に対する要望が高まっている。								
	今後の予測		本設計委託は、平成13年度に完了した。今後、街路築造について基本計画の策定や交通管理者との協議を行いながら車線構成を決定し、実施に向けた詳細な設計委託が必要となる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		橋梁維持補修			整理番号	726		枝番号	
所属部課名 都市整備部建設課				コード	221010		連絡先電話番号	3428	
係名 施設整備係				上位施策名				NO	
予算事業名 橋梁維持補修				コード	58700		災害に強い都市の形成		9
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 30 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 地方自治法第281条 2項				
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 杉並区管理橋梁の利用者				(2) 道路法第42条 1項				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 橋梁金属部分の塗装や定期点検調査による各部材の計画的な維持補修を行う。				(3)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 適切な維持保全を行い、橋梁利用者の安全を確保する。				活動指標名(式)				
				(1) 塗装実施面積					
				(2) 補修橋梁数					
				成果指標名(式)					
				(1) 塗装実施率 (単年度:実績 ÷ 計画)					
				(2) 補修橋梁整備率					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 橋梁の耐用年数が増し、安全な道路交通が確保される。									

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標(1)	m ²	1,694	1,687	1,693	0	1,500			
	活動指標(2)	橋	0	1	1	1	1			
	成果指標(1)	%	100	99	100	0	100			
	成果指標(2)	%	0	100	100	100	100			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	22,231	13,627	17,144	6,447	14,050	特記事項		
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0	活動指標(1) 11年度計画 1,693 m ² 12年度計画 1,693 m ² 11年度実績(事業費)は橋梁撤去1橋が含まれるためコストが高くなっている。 13年度実績(事業費)は新設改良工事に予算を流用したため減になっている。		
	職員数(正規 非常勤)	人	0.57	0.49	0.62	0.70	0.35			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,172	4,446	5,627	6,353			3,176
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++	千円	27,403	18,073	22,771	12,800	17,226			
	単位あたりコスト ÷	円	16,176	10,713	13,450		11,484			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0			0
		国都等からの支出金	千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	27,403	18,073	22,771	12,800	17,226			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	橋梁は交通上、防災上重要な構造物であり、良好な維持管理により耐用年数を延ばすことが可能である。区内の橋梁のほとんどは架設後30年以上経過しているため、維持補修の必要度が增大している。特に、多くの橋梁は止水性(排水)が悪く、補修必要度の高い26橋を選定し、平成12年度に策定した整備計画に盛り込んだ。また、金属部の塗装については全橋梁を対象にし、ほぼ6年周期で塗り替えを行っている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)	橋梁の破損状態を把握することは外見からでは困難であり、住民からの要望や苦情の多くは高欄の色、振動等である。
	今後の予測	橋梁は交通上、防災上必要不可欠であり、当面平成12年度に策定した橋梁整備計画(維持補修)に基づく維持保全を継続的に行い、適切に管理していくことが求められる。

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		橋梁新設改良				整理番号	727		枝番号		
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221010	連絡先電話番号	3428		昨年度整理番号		
係名		施設整備係			上位施策名				NO		
予算事業名		橋梁新設改良			災害に強い都市の形成				9		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		54年度		根拠法令等				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第281条2項 (2) 道路法第16条 (3) 道路橋示方書						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		橋梁整備計画に基づき耐震補強を行い、あわせて橋梁金属部分の塗装、定期点検調査による各部材の整備を進める。			活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		災害時における避難路を確保するとともに、地域住民の安全や利便性の向上を図る。			成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		啓開道路等に架かる橋梁の耐震補強を行うことにより、地域住民の安全や物資輸送路が確保できる。									
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%
指標	活動指標(1)		橋	0	0	3	3	5	24	12.5	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	0	0	0	12.5	20.8	100	12.5	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,104	0	103,897	96,240	52,540	特記事項 13年度に補強を行った3橋は跨線橋という特殊事情のため鉄道事業者に施行委託をした。		
	(内)委託費		千円	4,095	0	0	0	2,500			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.11	0.00	0.40	0.40	0.45			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	998	0	3,630	3,630	4,084			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	5,102	0	107,527	99,870	56,624			
	単位あたりコスト ÷		円			35,842,333	33,290,000	11,324,750			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	5,102	0	107,527	99,870	56,624				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		杉並区管内橋梁は117橋あり昭和54年以来、基準不適合な橋梁69橋について順次改良を行ってきたところである。こうしたなか、阪神淡路大震災に伴う示方書の改訂、災害対策強化を望む社会的要請などにより対象橋梁116橋の定期点検調査や啓開道路などに架かる優先順位の高い橋梁24橋について詳細調査を行い、平成12年度に新たな橋梁整備計画を策定した。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)		阪神淡路大震災以降、災害対策強化に関する要望がある。								
	今後の予測		今後、道路橋示方書の改訂による整備基準の見直しや、橋梁の延命のために定期的に橋梁診断を行い、計画的に整備を行う必要がある。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全モデル地区整備計画				整理番号	731		枝番号		
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221010	連絡先電話番号	3428		昨年度整理番号		
係名		施設整備係		上位施策名				交通安全の推進		NO	
予算事業名		交通安全運動推進		コード	61700		交通安全の推進				6
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		5 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 地方自治法第2条第2項第8号				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 交通安全対策基本法第18条第1.2.3項						
	対象		井草四・五丁目の一部と上井草一・二丁目及び三丁目一部の地区内道路、道路利用者及び地域住民		(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		「地区交通安全計画」に基づいて、交差点の改良・道路標識の改修等を行い、また交通安全の普及啓発のため、交通安全キャンペーン(教室)を実施し、「交通安全ニュース」を発行する。		活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		交通安全の普及啓発や歩車共存道路等を整備することにより、安全で良好な生活環境が確保され、歩行者などによる交通事故が減少する。		成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		総合的な交通安全施策を実施することにより、交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現する。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
指標	活動指標(1)	箇所	0	0	2	2	2	11	18.2		
	活動指標(2)	回	0	0	1	1	1	1	100.0		
	成果指標(1)	%	0	0	18.2	18.2	36.4	100.0	18.2		
	成果指標(2)	人	0.00	0.00	80.00	60.00	80.00	80.00	75.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	35	0	9,114	8,599	9,786	特記事項		
	(内)委託費		千円	0	0	0	92	0	活動指標(1)は「累計」で、活動指標(2)は「単年度」で表す。13年度までの累計実績は2箇所。		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50		0.30	0.50	0.35			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,537	0	2,723	4,538	3,176			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	4,572	0	11,837	13,137	12,962			
	単位あたりコスト ÷		円			5,918,250	6,568,250	6,481,125			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国 都等からの支出金		千円	0	0	0	1,184			2,500
		特定財源計 +		千円	0	0	0	1,184			2,500
差引:一般財源 -		千円	4,572	0	11,837	11,953	10,462				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		対象地区は通過交通の流入により車対人、車対自転車の交通事故が多く発生していた。平成9年に地域交通安全連絡会が発足し、交通安全意識の向上がはかられたが、依然として交通事故は多い。平成13年区は「地区交通安全計画」に基づき、交差点の改良や標識の改修等の工事に着手した。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		平成9年に地域住民の代表を中心とした「地域交通安全連絡会」が発足され、区と警察が一緒になってこの地域の交通安全施策について検討を行った。これに基づき平成11年に「地域交通安全連絡会」から、道路構造の改良、交通安全意識の高揚や交通規制などを総合的にとらえた「地区交通安全計画の提案」が提言された。								
	今後の予測		平成13年は交通事故も若干減少したが、さらなる交通安全意識の高揚と事故防止のための交通安全施策が求められている。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		水防応急対策				整理番号	752		枝番号						
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221001		連絡先電話番号	3423		昨年度整理番号	802				
係名 計画調整係				上位施策名				NO							
予算事業名		水防対策		コード	65600		水害対策の推進				10				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業										
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 水防法第3条(市町村の水防責任)										
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内全域(水害発生の恐れのある地域)の区民の生命及び財産				(2) 東京都水防条例、東京都水防計画										
					(3) 杉並区地域防災計画										
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 土のうの手配及びポンプ排水作業などの水防活動				活動指標名(式)										
				(1) 緊急水防作業委託回数											
				(2) 水防態勢回数											
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 迅速かつ確かな水防活動を行うことにより、浸水の未然防止を図り、被害を最小限にする。				成果指標名(式)											
				(1) 土のう積み回数											
				(2) ポンプ排水回数											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 水害時の被害を最小限にとどめ、災害に強いまちづくりを実現する。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標(1)		回	2		1				2					
	活動指標(2)		回	7		4				5					
	成果指標(1)		個	594		802				1,503					
	成果指標(2)		回	8		5				4					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,206		2,711		5,899		4,087		5,112		特記事項	
	(内)委託費		千円	659		2,199				1,732				水害発生時の対策であり計画・目標値ともに設定できない。コストについても水害の規模により異なる。	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.76		1.44		0.43		0.43		0.43			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,895		13,065		3,902		3,902		3,902		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	8,101		15,776		9,801		7,989		9,014			
	単位あたりコスト ÷		円	4,050,740		15,776,120				3,994,625					
	財源	受益者負担分		千円											
		国都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	8,101		15,776		9,801		7,989		9,014				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		被害件数 S60- 300件、元年 - 453件、H5- 284件、H11- 180件、H12- 3件、H13- 47件												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		土のうの手配、ポンプ排水等の対応が遅いので迅速に行って欲しいとの要望がある。												
	今後の予測		現在工事中の環状七号線地下調節池(第二期事業)及び和田弥生下水道幹線が完成すれば、環七から下流域の水害は軽減されるが、他の地域についての危険度は、あまり変わらない。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		水防訓練				整理番号	753		枝番号					
所属部課名			都市整備部建設課		コード	221001		連絡先電話番号	3422		昨年度整理番号	803		
係名					計画調整係		上位施策名				NO			
予算事業名					水防対策		コード	65600		水害対策の推進				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 水防法第3条(市町村の水防責任)					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		水防管理団体(区)と消防関係機関等				(2) 東京都水防条例、東京都水防計画			
									(3) 杉並区地域防災計画					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名(式)								
	区と消防署、消防団、防災市民組織等と合同で水防演習を実施する。					(1) 合同水防演習実施回数								
					(2)									
意図(対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名(式)									
消防関係機関等と合同で水防演習を行うことにより、水防技術の習得、研鑽及び水防意識の高揚を図る。					(1) 参加人員総数									
					(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
消防関係機関との連携等、水防体制を強化することにより、災害に強いまちづくりを実現する。														
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度		目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
					計画	実績	計画		年度					
指標	活動指標(1)		回	1	1	1	1	1						
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		人	415	471	471	377	400						
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,666	1,149	1,137	1,126	1,136		特記事項				
	(内)委託費		千円	651	640	650	640	650						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.86	0.74	0.09	0.09	0.09						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,803	6,714	817	817	817					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	9,469	7,863	1,954	1,943	1,953						
	単位あたりコスト ÷		円	9,468,780	7,863,020	1,953,750	1,942,750	1,952,750						
	財源	受益者負担分		千円										
		国都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	9,469	7,863	1,954	1,943	1,953							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		地下室付の住宅が増え、集中豪雨による地下浸水の被害が増加している。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		水防演習に対する要望 苦情は特にない。											
	今後の予測		現在、工事中の環状七号線地下調節池(第二期事業)及び和田弥生下水道幹線が完成すれば、環七から下流域の水害は軽減されるが、他の地域についての危険度は変わらない。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		テレメーターシステム維持管理				整理番号	754		枝番号				
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221001		連絡先電話番号	3422		昨年度整理番号	804		
係名 計画調整係				上位施策名				NO					
予算事業名		水防対策		コード	65600		水害対策の推進				10		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 水防法第3条(市町村の水防責任)								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内全域(水害発生の恐れのある地域)の区民の生命及び財産				(2) 東京都水防条例、東京都水防計画								
					(3) 杉並区地域防災計画								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 雨量・水位の観測装置等の計画的な改修及び維持管理。防災気象情報の収集。				活動指標名(式)				(1) 保守点検回数				
								(2) 防災気象情報の収集日数					
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 台風・豪雨時の正確な情報を速やかに把握し、迅速な水防活動を行うことにより、被害を最小限にする。				成果指標名(式)				(1) 雨量・水位の観測装置及び気象情報を活用した水防体制の回数					
								(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 水害時の被害を最小限にとどめ、災害に強いまちづくりを実現する。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		回	2		2		2	2	2			
	活動指標(2)		日	366		365		365	365	365			
	成果指標(1)		回	7		4			4				
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	11,022		10,339		10,729	10,165	8,161		特記事項	
	(内)委託費		千円	7,026		6,413		6,328	6,328	4,200			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.37		1.27		0.78	0.78	0.78			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	12,430		11,523		7,079	7,079	7,079		
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0	0		
	総事業費 ++		千円	23,452		21,862		17,808	17,244	15,240			
	単位あたりコスト ÷		円	11,726,005		10,930,855		8,903,750	8,621,750	7,619,750			
	財源	受益者負担分		千円									
		国都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	23,452		21,862		17,808	17,244	15,240				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年、集中豪雨による被害が多く、河川沿いの地域以外にも被害が出るようになった。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		水位警報装置のサイレンがうるさいなどの苦情がある。										
	今後の予測		現在工事中の環状七号線地下調節池(第二期事業)及び和田弥生下水道幹線が完成すれば、環七から下流域の水害は軽減されるが、他の地域についての危険度はかわらない。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		雨水浸透施設設置工事への助成				整理番号	755		枝番号			
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221004	連絡先電話番号	3424		昨年度整理番号	805		
係名 技術管理係					上位施策名				NO			
予算事業名		雨水流出抑制対策工事助成		コード	65650		水害対策の推進					
事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		6 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区雨水流出抑制対策推進要綱 (昭和58年6月7日)						
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区雨水流出抑制施設設置指導要綱 (平成6年3月15日)								
敷地面積が1,000㎡未満で個人所有の住宅		(3) 杉並区雨水浸透施設設置助成金交付要綱 (平成6年3月15日)										
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名 (式)						
	総合治水対策・雨水循環による自然環境保全の一環として、雨水流出抑制施設 (雨水浸透ます等) の設置者に対して40万円を限度に工事費の一部を助成する。					(1) 助成件数						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名 (式)						
	浸水被害が軽減する 地下水の涵養と緑勢が回復する					(1) 雨水の1時間当りの浸透量						
					(2) 雨水の1時間当りの浸透量 (平成6年度からの累計)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
大雨による雨水の下水道管への流入量を浸透施設の設置により減らせる。また、地下水の保全や地盤沈下の防止、緑の育成・保護に役立つ。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			15年度	
指標	活動指標 (1)		件	60	29	50	46	45	50	92.0		
	活動指標 (2)		千円	18,445	9,895	20,000	14,237	18,000	20,000	71.2		
	成果指標 (1)		?	392	218	400	323	315	350	92.3		
	成果指標 (2)		?	2263.00	2481.00	2881.00	2804.00	3119.00	3469.00	80.8		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	18,908	10,366	20,472	14,707	18,463	特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.90	0.92	1.30	1.30	0.90	1.00			
	人件費	職員分 (超勤分含む)		千円	8,166	8,347	11,798	11,798	8,168			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	2,966			
	総事業費 + +		千円	27,074	18,713	32,270	26,505	29,597				
	単位あたりコスト ÷		円	451,228	645,281	645,390	576,185	657,700				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円	9,222	4,947	10,000	7,118				
		特定財源計 +		千円	9,222	4,947	10,000	7,118	0			
差引:一般財源 -		千円	17,852	13,766	22,270	19,387	29,597					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成6年度から平成13年度までに、浸透ます1,284個 浸透トレンチ4,397m設置し、時間当り2,804㎡の雨水浸透量を確保した。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		助成金額を増額してほしい。									
	今後の予測		総合治水対策の一環として、流域対策 (雨水浸透施設設置) を時間当り10㎡を目標として積極的に推進する。また、雨水循環による自然環境保全に効果的な本事業は、今後拡大するものと見込まれる。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		憩いの水辺創出				整理番号	757		枝番号		
所属部課名都市整備部建設課			コード	221010		連絡先電話番号	3428		昨年度整理番号		
係名 施設整備係					上位施策名			NO			
予算事業名 憩いの水辺創出			コード	66300		水辺とみどりの保全・創出			12		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 地方自治法第281条2						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区内三河川(神田川、善福寺川、妙正寺川)流域の居住者及び利用者				(2) 河川法第16条						
	区内三河川(神田川、善福寺川、妙正寺川)流域の居住者及び利用者				(3) 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内三河川(神田川、善福寺川、妙正寺川)区域において、人が水にふれ、憩うことのできる水辺環境を創出する。平成13年度はそのための研究・調査を行った。				活動指標名(式) (1) 研究 調査内容の広報 (2)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民にやすらぎやうるおいを与え、生活活力の増進を図る。				成果指標名(式) (1) (代)環境博覧会すぎなみ2001への出展 (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 水とのふれあいの場を提供することで、区民に清らかな感受性を与え、都市化の進展により失われつつある自然環境を大切にすることをうえつげることができる。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		回			1	1	0			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		回			1	1	0			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			500	163	5,700	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人			0.30	0.30	0.25			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	2,723	2,723	2,269		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	0	3,223	2,886	7,969			
	単位あたりコスト ÷		円			3,222,500	2,885,500				
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	3,223	2,886	7,969				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		河川沿いの空間を親水性のある散策路として整備を行っていた「親水プロムナードの整備」事業を盛り込んだ新規事業であり、平成13年度は研究・調査を行った。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		みどりや水の自然環境を大切にする区民の意識の高まりを考慮しつつ、水と身近に親しめる環境づくりを積極的に推進することが期待されている。								
	今後の予測		都市化の進展により区民が水と親しみにくいものとなってきている。杉並の貴重な自然環境である河川について安全性や治水機能を確保しながら、区民が水と親しめるシンボル空間として再生することがますます求められると予測される。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共交通の計画・調整				整理番号	530		枝番号		
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304	連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号		
係名		交通対策係			上位施策名				NO		
予算事業名		公共交通体系の整備		コード	51700		道路交通体系の整備				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		3 年度		根拠法令等				
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 駐車場法第2条の2 (2) 都区駐車場整備基金融資あっせん及び利子補給制度実施要綱 (3)						
	区内在住、来訪者 区内駐車場建設をしようとする個人及び法人										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名 (式)								
	交通政策の調査・研究及び交通事業者との連絡調整 東京都・東京都駐車場公社・23区共同による駐車場整備基金制度に基づく駐車場建設資金融資あっせん、利子補給の受付業務を行う。		(1) 交通事業者連絡会の開催回数 (2) 駐車場建設融資貸付受付業務件数 (相談を含む)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名 (式)									
交通事業者との連絡を密にすることにより、公共交通利用者の利便性向上を図っていく。 駐車場整備による路上駐車解消及びそれに伴う交通渋滞の緩和		(1) 駐車場整備台数 (2) 融資件数 / 受付件数									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
安全で快適な都市環境の整備に貢献する。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標 (1)		回	2	2	2	2	2			
	活動指標 (2)		件数	3	3	2	2	2			
	成果指標 (1)		台	0	30	30	0	30			
	成果指標 (2)		件	0/4	1/3	1/3	0/0	1/3			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	66,178	1,885	47	30	48	特記事項 11年度 井荻駅北口改修 50,000,000 12年度 交通量調査委託料 1,858,500		
	(内)委託費		千円		1,859						
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.10	0.20	0.10	0.25	0.22		0.25	0.30
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	907	1,815	908	1,997		2,723	
		非常勤職員分		千円	0	0	742	742		0	
	総事業費 + +		千円	67,085	3,700	1,696	2,768	2,771			
	単位あたりコスト ÷		円	33,542,650	1,849,800	848,000	1,384,000	1,385,250			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0	
差引:一般財源 -		千円	67,085	3,700	1,696	2,768	2,771				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成2年における都内の違法駐車台数は20万台を越えたが、駐車場の整備などにより減少してきたものの、ここ2年間は増加傾向にある。違法駐車問題は都心部や繁華街において深刻化している。杉並区では、駐車場整備基金を活用し、5ヶ所168台の整備を行ってきた。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)										
	今後の予測		東京都は自動車利用の抑制、公共交通への乗換転換などのTDM (交通需要マネジメント)への取り組みを行っている。住宅都市杉並区に比べ、都心部や繁華街における違法駐車対策の必要性が高い。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		南北バス運行				整理番号	532		枝番号						
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304		連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号					
係名 交通対策係				上位施策名				NO							
予算事業名		公共交通体系の整備		コード	51700		道路交通体系の整備				5				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		7 年度		根拠法令等					<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	<input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 地方自治法第232条の2								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 道路運送法第4条										
	区内在住者、通勤・通学者、来訪者		(3) 杉並区南北バス交通運行協定書												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名 (式)										
	杉並区南北バス「すぎ丸」(平成12年11月27日運行開始)の継続運行 民間バス新規路線(永福町駅～松ノ木住宅～新高円寺・高円寺駅間)の環境整備(平成14年6月1日運行開始)				(1) 南北バス「すぎ丸」運行本数 (2) 民間バス新規路線道路環境整備部分全長										
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名 (式)											
区内南北交通不便地域の解消を図るとともに、地域間の交流を促進する。				(1) 南北バス「すぎ丸」年度総利用客数 (2) 南北バス「すぎ丸」年度1日平均利用者数											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
南北交通不便地域に公共交通を導入することで、高齢者や子連れの主婦等、移動制約者をはじめとした区民等の利便性向上に高い効果を上げる。また、公共交通利用への転換を図ることで交通事故防止、排気ガス減少による環境保全、女性・児童の安全確保等に寄与する。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画		実績		年度				
指標	活動指標(1)		本	11,500		33,580		33,668		37,696					
	活動指標(2)		m			630		630							
	成果指標(1)		人	162,764		474,500		536,863		547,500					
	成果指標(2)		人			1,300		1,472		1,500					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	10,821		163,241		41,273		30,830		23,066		特記事項	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	3.00		2.81		2.76	0.25	2.81	0.25	2.95			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	27,219		25,495		25,047		25,501		26,771		
		非常勤職員分		千円	0		0		742		742		0		
	総事業費 ++		千円	38,040		188,736		67,062		57,072		49,837			
	単位あたりコスト ÷		円			16,412		1,997		1,695		1,322			
	財源	受益者負担分		千円											
		国 都等からの支出金		千円	4,499		20,591		7,500		7,500		7,500		
		特定財源計 +		千円	4,499		20,591		7,500		7,500		7,500		
差引:一般財源 -		千円	33,541		168,145		59,562		49,572		42,337				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区内では初の試みであるコミュニティバス、杉並区南北バス交通「すぎ丸」は、平成12年11月27日の運行開始後、好評のうちに現在に至っている。その後も他地域における公共交通運行への区民からの要望が高いこともあり、平成14年度運行開始の永福町駅～松ノ木住宅～新高円寺・高円寺駅間の民間バス新規路線に対し、道路環境整備等による支援を行った。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		バス利用客等に対するフォローアップ調査において「すぎ丸」は、運行システム、運行回数、運転士の対応等あらゆる面から高評価を得ている。また、松ノ木線については、松ノ木地域の住民をはじめとした区民からの実現要望がかねてより高かった路線である。												
	今後の予測		南北の交通が不便であるといふ杉並区の交通特性、及び高齢化の進行等により、上記2路線以外にも南北方向の公共交通整備の要望、また必要性はますます高まるものと思われる。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		登録制置場等運営				整理番号	686		枝番号					
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3554		昨年度整理番号	731			
係名				自転車対策係				上位施策名		NO				
予算事業名				自転車駐車場等維持運営				コード		59600				
								自転車問題の解決		7				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		登録制自転車置場等の利用者		(2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例					
	登録制自転車置場等の利用者								(3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				道路上等に暫定的に設置している登録制自転車置場等の運営 (利用登録の申請受付・審査、登録証の発行、置場整理員の配置)				活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				通勤・通学で駅に乗り入れる自転車を登録制自転車置場等に収容し、放置自転車を防止する。				成果指標名(式)					
								(1) 自転車放置率 (置場外自転車台数 ÷ 駅乗り入れ自転車台数 (登録制自転車置場等の設置駅))						
								(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
・ 放置自転車のない快適で安全なまちづくりに貢献する。														
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
							計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		台	7620		7703		8010		7,942		7,180		
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	25.75		25.26				24.42				
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	53,257		51,828		41,884		43,089		33,091	特記事項	
	(内)委託費		千円	563		195		192		156		2,476		
	職員数(正規 非常勤)		人	4.42		4.90		3.78		3.86		3.36		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	40,103		44,458		34,304		35,030			30,492
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 + +		千円	93,360		96,286		76,188		78,119		63,583		
	単位あたりコスト ÷		円	12,252		12,500		9,512		9,836		8,856		
	財源	受益者負担分		千円	27,930		29,462		29,710		28,996			26,660
		国 都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	27,930		29,462		29,710		28,996			26,660
差引:一般財源 -		千円	65,430		66,824		46,478		49,123		36,923			
受益者負担比率 ÷		%	29.9		30.6		39.0		37.1		41.9			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、平成13年度には29,022台に減少している。 また、置場外自転車台数は平成4年度には1日平均11,946台であったが、平成13年度には9,023台に減少している。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		・ 本来、道路である場所や、場所を暫定的に自転車置場として利用しているため、環境への影響(美観など)や、通行スペースを狭くしている。 ・ 距離制限や利用要件による制限をせず、だれでも登録できるようにしてほしい。											
	今後の予測		有料制自転車駐車場を増加させ、暫定的な登録制自転車置場等は廃止していく。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		有料制駐車場運営				整理番号	687	枝番号		
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3554	昨年度整理番号	732	
係名		自転車対策係			上位施策名			NO		
予算事業名		自転車駐車場等維持運営		コード	59600	自転車問題の解決			7	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		年度		根拠法令等			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区立自転車駐車場条例 (3) 杉並区立自転車駐車場条例施行規則				
	有料制自転車駐車場の利用者									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名 (式)							
(財)自転車駐車場整備センターと(社)杉並区シバ-人材センターに委託して有料制自転車駐車場を運営している。		(1) 収容可能台数 (2) 平日平均利用率 (平日の駐車台数(延べ)÷ 平日の年間収容可能台数)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名 (式)								
誰でも利用できる有料制自転車駐車場に自転車を収容し、放置自転車を防止する。		(1) 自転車放置率 (置場外自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数 (有料制自転車駐車場の設置駅)) (2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか										
放置自転車のない安全で快適なまちを実現する。										
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標 (1)		台	21179	20896	21111	20,917	21,517		
	活動指標 (2)		%	60.5	61.1		62.2			
	成果指標 (1)		%	33.06	33.55		32.91			
	成果指標 (2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	553,626	538,589	558,895	508,217	492,259	特記事項 駐車場箇所数 31箇所13駅 (10年度末) 32箇所14駅 (11年度末) 32箇所14駅 (12年度末) 32箇所14駅 (13年度当初)	
	(内)委託費		千円	323,584	313,952	301,445	271,850	240,071		
	職員数 (正規 非常勤)		人	1.03	1.35	1.40	1.43	1.32		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,345	12,249	12,705	12,977	11,979		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	562,971	550,838	571,600	521,194	504,238		
	単位あたりコスト ÷		円	26,582	26,361	27,076	24,917	23,434		
	財源	受益者負担分		千円	449,365	442,683	463,391	451,171		406,636
		国 都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	449,365	442,683	463,391	451,171		406,636
差引:一般財源 -		千円	113,606	108,155	108,209	70,023	97,602			
受益者負担比率 ÷		%	79.8	80.4	81.1	86.6	80.6			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、平成13年度には29,022台に減少している。 また、置場外自転車台数は平成4年度には1日平均11,946台であったが、平成13年度には9,023台に減少している。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		・利用率が低く有効活用されていない自転車駐車場が多い。 ・荻窪北口周辺の自転車駐車場は、定期利用の待機者が多く、1日利用も満車で利用できない場合がある。 ・利用料金が低い。							
	今後の予測		現在14駅に有料制自転車駐車場を設置している。現在登録制の駅について、用地・施設の確保ができたところから、有料制自転車駐車場に移行していく。また、需要が多いJR中央線沿線駅の自転車駐車場を増やしていく。							

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		放置自転車の撤去・返還・処分				整理番号	688		枝番号						
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3554		昨年度整理番号	733				
係名		自転車対策係				上位施策名			NO						
予算事業名		自転車駐車場等維持運営		コード	59600		自転車問題の解決			7					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		放置自転車及び放置自転車の所有者		(2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		放置防止禁止区域内に放置された自転車の撤去、集積所への移送、集積所での保管、所有者への返還、引き取りのない自転車の処分(再利用)。				活動指標名(式)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		放置自転車を撤去し、放置自転車のない安全で快適なまちをつくる。				成果指標名(式)								
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				放置自転車を撤去する当該事業と、有料制自転車駐車場を整備等の施策を併せて、放置自転車を減少させる。									
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
							計画		実績		年度				
指標	活動指標(1)		台	60832		64716		60000		61,871		60,000			
	活動指標(2)		台	40808		46365		42000				42,000			
	成果指標(1)		%	31.57		31.84				31.14					
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	123,940		113,549		108,555		121,501		123,551		特記事項	
	(内)委託費		千円	52,671		51,392		52,150		52,150		51,690			
	職員数(正規 非常勤)		人	6.19		7.26		5.88		6.00		4.68			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	56,162		65,870		53,361		54,450		42,471		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	180,102		179,419		161,916		175,951		166,022			
	単位あたりコスト ÷		円	2,961		2,772		2,699		2,844		2,767			
	財源	受益者負担分		千円	81,616		89,552		81,780		82,294		132,230		
		国都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	81,616		89,552		81,780		82,294		132,230		
差引:一般財源 -		千円	98,486		89,867		80,136		93,657		33,792				
受益者負担比率 ÷		%	45.3		49.9		50.5		46.8		79.6				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、平成13年度には29,022台に減少している。 また、置場外自転車台数は平成4年度には1日平均11,946台であったが、平成13年度には9,023台に減少している。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		・撤去を頻繁に行ってもらいたい。土曜日、日曜日、平日夕方も撤去してもらいたい。・自分は自転車を放置した意識はない。・短時間しか置いていなのに撤去された。・他の自転車はそのままなのに、自分の自転車だけ撤去された。												
	今後の予測		年間60,000台以上の台数(都内で上位)を撤去しているが、これだけの撤去活動を行っても駅周辺の放置自転車はなくなっていない。自転車を放置することは悪いことであるという個人の意識がなければ、放置自転車はなくなる。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		放置防止活動				整理番号	689		枝番号				
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3554		昨年度整理番号	734			
係名		自転車対策係			上位施策名				NO				
予算事業名		自転車駐車場等維持管理		コード	59600	自転車問題の解決				7			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例								
	駅周辺の放置禁止区域に自転車を乗り入れる利用者		(3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名 (式)										
放置禁止区域の路面ステッカーの貼付、看板の修理等。 また、例年10月に10日間「放置自転車クリーンキャンペーン」を実施。ポスターの掲出、駅でのチラシ、ティッシュペーパー等の配布、放置防止指導、撤去作業を行なう。チラシ配付等の啓発活動は、駅周辺の町会、商店会、鉄道事業者とともに進んでいる。		(1) 路面ステッカー貼付枚数 (2) クリーンキャンペーン期間中の撤去台数											
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名 (式)											
駅周辺の放置禁止区域を、放置自転車がない状態にする。		(1) 自転車放置率 (置場外自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数 (区内全駅周辺)) (2)											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
駅周辺の放置禁止区域の案内や、放置自転車は条例に違反することを周知することで、放置自転車を防止する。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標 (1)		枚	408	586	550		685	550				
	活動指標 (2)		台	1339	2543			2,251					
	成果指標 (1)		%	31.57	31.84			31.14					
	成果指標 (2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,960	5,788	6,259		9,895	6,314		特記事項		
	(内)委託費		千円										
	職員数 (正規 非常勤)		人	1.62	1.68	1.12		0.57	0.48				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	14,698	15,243	10,164		5,173	4,356				
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0	0				
	総事業費 + +		千円	23,658	21,031	16,423		15,068	10,670				
	単位あたりコスト ÷		円	57,986	35,888	29,860		21,997	19,400				
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0		0	0			
差引：一般財源 -		千円	23,658	21,031	16,423		15,068	10,670					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、平成13年度には29,022台に減少している。 また、置場外自転車台数は平成4年度には1日平均11,946台であったが、平成13年度には9,023台に減少している。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		放置禁止区域の表示がわからなかったため自転車を放置した。・ロープなどで放置できないようにしてほしい。・私道だが放置自転車を撤去してもらいたい。										
	今後の予測		放置禁止区域の若干の変更はある。その際に案内看板の設置が必要となる。また、路面ステッカーは劣化のため表示が薄くなる。看板の破損もあり 維持補修は必要である。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		放置防止指導員・協力員				整理番号	690		枝番号		
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3554		昨年度整理番号	737	
係名		自転車対策係			上位施策名				NO		
予算事業名		自転車駐車場等維持管理		コード	59600	自転車問題の解決				7	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		6 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区自転車放置防止協力員要綱						
	駅周辺に乗入れる自転車利用者		(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		民間企業に委託して、放置自転車を防止するための呼びかけ、自転車駐車場等への案内・誘導のための放置防止指導員を配置している。 また、駅周辺の商店会等の会員を放置防止協力員として委嘱し、放置自転車の防止のために活動してもらっている。区は、ボランティア保険料、活動被服を負担している。				活動指標名 (式)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		自転車利用者が、自転車を放置しないようにする。				成果指標名 (式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		自転車を放置しようとする利用者に、放置防止を呼びかけることで、放置自転車のない駅周辺の環境を実現する。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
指標	活動指標 (1)	箇所	6	7	7	9	9				
	活動指標 (2)	駅	2	4	3	4	4				
	成果指標 (1)	%	31.57	31.84		31.14					
	成果指標 (2)	%	38.95	32.90		27.70					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	18,925	16,066	26,550	26,514	29,302	特記事項		
	(内)委託費		千円	18,867	15,939	26,372	26,372	29,169			
	職員数 (正規 非常勤)		人	1.48	1.69	1.26	1.86	1.68			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	13,428	15,333	11,435	16,880	15,246			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	32,353	31,399	37,985	43,394	44,548			
	単位あたりコスト ÷		円	5,392,173	4,485,624	5,426,357	4,821,500	4,949,778			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	32,353	31,399	37,985	43,394	44,548				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成 4年度には1日平均 34,942台であったが、平成 13年度には 29,022台に減少している。 また、置場外自転車台数は平成 4年度には1日平均 11,946台であったが、平成 13年度には 9,023台に減少している。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		・ 放置防止指導員を増員して毎日配置してほしい。 ・ 指導員から高圧的に注意された。 ・ 指導員はただ立っているだけで何もしていない。 ・ 地元の住民や事業者が協力しないと放置自転車問題は解決しない。								
	今後の予測		撤去作業と併用して放置防止のために人を配置することで、放置自転車の抑制になる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民営自転車駐車場育成補助				整理番号	691		枝番号			
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3554		昨年度整理番号	738		
係名		自転車対策係			上位施策名				NO			
予算事業名		自転車駐車場等維持管理		コード	59600	自転車問題の解決				7		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区民営自転車駐車場育成補助金交付要綱							
	区の補助を受けて民営自転車駐車場を設置した方・団体		(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区の補助を受けて民営自転車駐車場を設置した方・団体に対して、その運営経費の一部を3年間補助する。				活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		自転車駐車場の不足している駅周辺で、民営自転車駐車場の安定的な運営を促す。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区の自転車駐車場整備・運営にかかる費用が大幅に軽減される。										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標(1)		件	1	1	1	1	1				
	活動指標(2)		台	173	173	173	173	297				
	成果指標(1)		千円	1630	1630	1630	1,630	6,117				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	684	680	743	680	10,000	特記事項			
	(内)委託費		千円						14年度計画の成果指標(1)について 14年度からの補助施設は、西荻窪北口に予定されているため、維持費の削減額は、西荻窪東と西荻窪西自転車駐車場の維持経費から算出した(13年度実績より)。 西荻窪東 9,665千円(台数 930台) 西荻窪西 36,055千円(台数 1,290台) 1台あたり20,595円×297台 = 6,117千円(台数は建設予定台数)			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.50	0.50	0.30	0.30				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,537	4,537	4,538	2,723				2,723
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	5,221	5,217	5,281	3,403	12,723				
	単位あたりコスト ÷		円	5,220,500	5,216,500	5,280,500	3,402,500	12,722,500				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	5,221	5,217	5,281	3,403	12,723					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区では、平成6年から自転車駐車場の有料化を開始し、平成14年4月1日現在、14駅33カ所、21,517台を整備している。補助した民間自転車駐車場は南阿佐ヶ谷の1件だけである。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		問い合わせが年に数件しかないため、あまり意見を聞く機会がない。									
	今後の予測		民間活力を導入するために今後も民営自転車駐車場育成補助制度は存続させる。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自転車等駐車対策協議会				整理番号	692		枝番号						
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3554		昨年度整理番号	739					
係名		自転車対策係			上位施策名				NO						
予算事業名		自転車駐車場等維持管理		コード	59600	自転車問題の解決				7					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		7 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律								
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		自転車等の駐車対策に関する重要事項を調査審議する。				活動指標名 (式)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		自転車対策について、区民、有識者、行政庁など各方面の関係者を参画させ、利害関係者相互の意思疎通と意識の高揚を図る。				成果指標名 (式)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 関係者が一体となった放置自転車対策がなされる。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標 (1)		回	2		4		2	2	2					
	活動指標 (2)														
	成果指標 (1)		%	31.57		31.84		31.14							
	成果指標 (2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	400		571		445		312		392		特記事項	
	(内)委託費		千円												
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.38		0.67		0.56		0.14		0.48			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,448		6,079		5,082		1,271		4,356		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	3,848		6,650		5,527		1,583		4,748			
	単位あたりコスト ÷		円	1,923,870		1,662,478		2,763,500		791,250		2,374,000			
	財源	受益者負担分		千円											
		国 都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	3,848		6,650		5,527		1,583		4,748				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		本協議会の答申により平成10年2月に「杉並区自転車利用総合計画」が策定され、主たる目的は達成された。今後は、総合計画の推進、重要事項の調査審議を行っていく。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		特になし。												
	今後の予測		駐車対策に限らず、自転車に関する事項全般について諸問題を諮り 意見をいただく。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		サイクルアクションプログラム策定				整理番号	693		枝番号	
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3554		昨年度整理番号	
係名		自転車対策係			上位施策名				NO	
予算事業名		自転車駐車場等維持管理		コード	59600	自転車問題の解決				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成 13 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		○ 無 ● 有 平成 13 年度		(1) 杉並区サイクルアクションプログラムに関する懇談会設置要綱					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)					
	サイクルアクションプログラム懇談会委員（公募委員、関係団体推薦委員）				(3)					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		「自転車のまちづくり」を実現するため、具体的な行動計画を策定するため、区民を主体の懇談会で検討を行った。		活動指標名（式）					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		自動車の使用を極力抑制し、自転車を活用することで、安全で健康的な新しい都市交通システムを杉並区に構築する。		成果指標名（式）						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		これまでの自転車問題に対する取り組み（自転車駐車場の整備や放置自転車の撤去など）を見直し、今後は「まちづくり」の視点を持った、総合的な施策を推進する。		(1) 自転車放置率（置場外自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数（区内全駅周辺））						
				(2)						
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	回			10	13	0			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%				31.14				
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			1,000	983	0	特記事項	
	(内)委託費		千円							
	職員数(正規 非常勤)		人				0.43	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	3,902	0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	0	1,000	4,885	0		
	単位あたりコスト ÷		円			100,000	375,788			
	財源	受益者負担分		千円						
		国 都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引：一般財源 -		千円	0	0	1,000	4,885	0			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		13年 9月に第 1回懇談会を開催し、14年 1月までに懇談会を6回、分科会を7回開催し、区長への提言書をまとめた。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		・ 撤去を繰り返す現在のやり方で、放置自転車が減っていない。 ・ 自転車は環境にやさしい乗り物である。							
	今後の予測		懇談会の提言を受けて、14年 7月に区としての「杉並区サイクルアクションプログラム」を策定した。今後、この計画を実施していく。							

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		(仮称)高円寺北自転車駐車場建設				整理番号	694		枝番号					
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3558		昨年度整理番号	740			
係名		自転車対策				上位施策名			NO					
予算事業名		自転車駐車場整備		コード	59800		自転車問題の解決			7				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等					<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		○ 無 ● 有		平成 15 年度		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		自転車利用者		(2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		2500台規模収容の自転車駐車場を整備する。平成13、14年度用地取得、平成14、15年度工事。				活動指標名(式)							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		自転車の駐車スペースを確保することにより、自転車利用者が放置しない環境を整える。				成果指標名(式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
放置自転車のない、誰もが安全に通行できる公共空間の実現が可能になる。														
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
					計画	実績			15	年度				
指標	活動指標(1)		台						2500		0.0			
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	32.02	30.34		28.60							
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円		1,605	509,570	546,085	657,434		特記事項				
	(内)委託費		千円			11,619	7,779	1,520		東京都市計画駐車場事業				
	職員数(正規 非常勤)		人		0.70	1.00	1.20	1.30						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	6,351	9,075	10,890	11,798					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	0	7,956	518,645	556,975	669,232						
	単位あたりコスト ÷		円											
	財源	受益者負担分		千円										
		国 都等からの支出金		千円			123,000	123,000	215,000					
		特定財源計 +		千円	0	0	123,000	123,000	215,000					
差引:一般財源 -		千円	0	7,956	395,645	433,975	454,232							
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		自転車駐車場需要に変化はない。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		特になし。											
	今後の予測		今後、引き続き自転車駐車需要に変化はないと予測される。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		荻窪南第二自転車駐車場改築				整理番号	695		枝番号		
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3558		昨年度整理番号		
係名		自転車対策			上位施策名				NO		
予算事業名		自転車駐車場整備		コード	59800		自転車問題の解決				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成 13 年度		根拠法令等						
	事業終期		○ 無 ● 有 平成 15 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施工規則						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 自転車利用者								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		1150台規模収容の自転車駐車場を整備する。平成13、14、15年度工事。			活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		自転車の駐車スペースを確保することにより、自転車利用者が放置しない環境を整える。			成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
放置自転車のない、誰もが安全に通行できる公共空間の実現が可能になる。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績			15年度		
指標	活動指標(1)		台						1150	0.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	19.43	23.23		28.57				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			214,020	200,634	179,151		特記事項	
	(内)委託費		千円			32,176	32,010	932			
	職員数(正規 非常勤)		人				0.60		0.70		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0		5,445	6,353		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	0	214,020	206,079	185,504			
	単位あたりコスト ÷		円								
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	214,020	206,079	185,504				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		自転車駐車場需要に変化はない。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		特になし。								
	今後の予測		今後、引き続き自転車駐車需要に変化はないと予測される。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		浜田山南自転車駐車場建設				整理番号	696		枝番号			
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3558		昨年度整理番号			
係名		自転車対策			上位施策名				NO			
予算事業名		自転車駐車場整備		コード	59800		自転車問題の解決					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成 13 年度		根拠法令等							
	事業終期		○ 無 ● 有 平成 13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施工規則							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 自転車利用者									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		360台規模収容の自転車駐車場を整備する。平成13年度用地賃借契約、工事。			活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		自転車の駐車スペースを確保することにより、自転車利用者が放置しない環境を整える。			成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 放置自転車のない、誰もが安全に通行できる公共空間の実現が可能になる。												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
					計画	実績		13年度				
指標	活動指標(1)		台			360	406		360	112.8		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	8.65	7.06		7.93	4.47				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円			33,870	19,929		特記事項			
	(内)委託費		千円						成果指標(1)の各年度実績欄の数値は、年5回の台数調査の平均値。14年度計画欄の数値は、14年6月調査時の数値(浜田山南自転車駐車場14年4月1日開設)			
	職員数(正規 非常勤)		人				0.50					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0		4,538			0	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 ++		千円	0	0	33,870	24,467				0	
	単位あたりコスト ÷		円			94,083	60,262					
	財源	受益者負担分		千円								
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	0
差引:一般財源 -		千円	0	0	33,870	24,467		0				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		自転車駐車場需要に変化はない。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		特になし。									
	今後の予測		今後、引き続き自転車駐車場需要に変化はないと予測される。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全協会及び交通安全協議会に対する補助金・分担金				整理番号	728		枝番号	
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304	連絡先電話番号	3553	昨年度整理番号	773	
係名 交通対策係				上位施策名				NO		
予算事業名		交通安全運動推進		コード	61700	交通安全の推進		6		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成			40 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有			平成 年度		(1) 平成13年度交通安全協会補助金交付要綱				
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(2) 平成13年度杉並区交通安全協議会補助金交付要綱						
	・補助金・・・杉並・高井戸・荻窪交通安全協会、杉並交通安全協議会 ・分担金・・・杉並区交通安全のつどい主催団体(区・警察・交通安全協会)			(3) 地方自治法第2条第3項第8号						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)					
	・各交通安全協会に対して、補助金を交付する。(交通安全協議会についても同じ) ・区、警察、交通安全協会共催で、杉並区交通安全のつどいを杉並公会堂で年1回開催する。				(1) 補助金申請数 (2) 杉並区交通安全のつどい開催数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)						
・各種団体の事業に要する経費の一部又は全部を補助することで、交通事故防止を目的とした活動が積極的に実施できる。 ・広く区民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通安全の気運を盛り上げるための交通安全のつどいを開催できる。				(1) 交通安全協会が交通安全啓発活動を実施した延べ日数 (2) 杉並区交通安全のつどい参加者数						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか										
地域の特性に合わせた交通安全啓発活動を実施することにより、交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現できる。										
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		件	4	4	4	4	4		
	活動指標(2)		回	1	1	1	1	1		
	成果指標(1)		日	234	279		270			
	成果指標(2)		人	1,150	1,100	1,200	1,100	1,200		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,470	5,424	5,324	5,324	5,324	特記事項	
	(内)委託費		千円							
	職員数(正規 非常勤)		人	0.26	0.30	0.21	0.27	0.33		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,359	2,722	1,906	2,450	2,995		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	8,829	8,146	7,230	7,774	8,319		
	単位あたりコスト ÷		円	2,207,245	2,036,475	1,807,438	1,943,563	2,079,688		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		0
		国都等からの支出金		千円	0	0	0	0		0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	8,829	8,146	7,230	7,774	8,319			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区内の交通事故件数 平成2年...1,749件 平成13年...3,392件 交通安全協会加入者 団体数 平成7年度...3,195人 平成13年度...2,603人							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		補助金の増額要請がある。							
	今後の予測		今後、景気が回復せず不況が続くと、更に交通安全協会加入者 団体数が減少すると考えられる。							

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全啓発活動委託				整理番号	729		枝番号			
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304		連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号	774	
係名 交通対策係				上位施策名				NO				
予算事業名		交通安全運動推進		コード	61700		交通安全の推進				6	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成			8年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有			平成 年度		(1) 地方自治法第2条第3項8号						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			杉並・高井戸・荻窪地域交通安全活動推進委員協議会		(2) 交通安全対策基本法第18条第1・2・3項						
						(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 違法駐車防止活動や高齢者に対する交通安全啓発活動等を委託する。					活動指標名(式)						
					(1) 交通安全啓発活動を実施した延べ時間数							
					(2) 交通安全啓発活動に参加した延べ人数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) ・道路の適正な使用を啓発し、違法駐車を減少させる。 ・高齢者の交通安全意識を向上させ、高齢者の交通事故を防止する。					成果指標名(式)							
					(1) 区内における違法駐車台数							
					(2) 区内における高齢者の交通事故件数							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 総合的な交通安全施策を実施することにより、交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現することができる。												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度				14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%
					計画		実績			年度		
指標	活動指標(1)		時間	181	181	181		181		181		
	活動指標(2)		人	352	367	467		467				
	成果指標(1)		台	2,304	3,358			2,975				
	成果指標(2)		件	352	477			440				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	494	494	495		494		495		特記事項
	(内)委託費		千円	494	494	495		494		495		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.26	0.30	0.21		0.27		0.33		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,359	2,722	1,906		2,450		2,995	
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0		0	
	総事業費 ++		千円	2,853	3,216	2,401		2,944		3,490		
	単位あたりコスト ÷		円	15,762	17,767	13,264		16,267		19,280		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0		0		0	
		国都等からの支出金		千円	0	0	0		0		0	
		特定財源計 +		千円	0	0	0		0		0	
差引:一般財源 -		千円	2,853	3,216	2,401		2,944		3,490			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区内の違法駐車台数 平成8年...3,722台 平成13年...2,975台 区内の高齢者人口 平成8年...74,172人 平成13年...86,391人 区内における高齢者の交通事故件数 平成8年...214件 平成13年...440件									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		二輪車の違法駐輪が多くなってきている。									
	今後の予測		一人ひとりの交通安全意識の向上がなければ、今後も違法駐車の問題は発生すると考えられる。一方、今後、更に高齢者人口が増加(平成17年予測91,651人)し、高齢者の交通事故も増加すると考えられる。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全啓発用品の購入と配布				整理番号	730		枝番号		
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304	連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号	775	
係名 交通対策係				上位施策名				NO			
予算事業名		交通安全運動推進		コード	61700		交通安全の推進				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 地方自治法第2条第3項第8号						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民及び道路利用者の生命・財産				(2) 交通安全対策基本法第18条第1・2・3項						
					(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 交通安全啓発用品を購入し、区民に配布する。 横断歩道用横断幕や表示幕を作製し、区内の道路に掲示する。				活動指標名 (式) (1) 交通安全啓発用品配布数 (2) 横断歩道用横断幕、標示幕作製数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民及び道路利用者の交通安全意識が向上し、正しい交通ルール・マナーを実践してもらう。				成果指標名 (式) (1) 交通安全啓発用品配布数 / 杉並区民人口 (2) 横断歩道用横断幕、標示幕作製数 / 区内の道路延長 (km)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 総合的な交通安全施策を実施することにより、交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現することができる。											
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標 (1)	個	50,940	30,950	18,500	32,800	25,500				
	活動指標 (2)	流	77	88	94	85	94				
	成果指標 (1)	%	10	6	4	6	5				
	成果指標 (2)	%	10	12	13	11	13				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,514	5,006	5,403	5,403	5,445	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数 (正規 非常勤)		人	1.94	2.03	1.31	0.50	1.74	0.50	2.09	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	17,602	18,418	11,888	15,791	18,967			
		非常勤職員分	千円	0	0	1,483	1,483	0			
	総事業費 + +		千円	24,116	23,424	18,774	22,677	24,412			
	単位あたりコスト ÷		円	473	757	1,015	691	957			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0		
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	24,116	23,424	18,774	22,677	24,412				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区内の交通事故件数 平成8年... 2,068件 平成13年... 3,392件 杉並区民の人口 平成8年... 501,316人 平成13年... 505,839人 区内の道路延長 (km) 平成8年... 746km 平成13年... 749km								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		交通ルール・マナーをもっと周知 徹底してもらいたい。 交通安全啓発用品の配布数を増やしてもらいたい。								
	今後の予測		車両保有台数 運転免許保有者数の増加や交通量の増加から、道路交通は過密・混合化が生じ、また、生活様式の変化、生活の24時間化、更に基本的な交通ルール・マナーの欠如が複雑に絡み合い、厳しい交通環境が続くと考えられる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		土木公園事務所管理運営（庶務事務）				整理番号	684		枝番号				
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	729		
係名 工務係				上位施策名				NO					
予算事業名		土木公園事務所管理運営		コード	59000		まちづくり施策の総合的推進				1		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 32 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 地方自治法 第28条								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 土木公園事務所・維持課職員、材料置場等関連施設利用者、施設管理人				(2) 杉並区土木公園事務所庶務規程								
					(3) 杉並区区立施設管理人及び管理人室使用要綱								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 施設の運営にあたり、日常的・定期的業務並びに修繕を計画し、それに基づき適切な保全・維持管理を行う。				活動指標名（式）				(1) 保全 維持管理面積				
									(2)				
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 施設の機能・性能を常に良好な状態にし、安全で能率的な環境を確保する。				成果指標名（式）				(1) 不具合処理率 不具合処理件数 / 点検及び破損件数					
								(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 施設環境の維持・改善を図ることで職員の仕事の能率が上がり、まちづくり施策の向上へとつながる。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		m ²	3,448		3,448		3,448	3,448	2,113			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	96		96		100	100	100			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	40,072		39,344		45,589	40,259	14,588		特記事項	
	(内)委託費		千円	10,964		9,624		10,213	8,772	3,802			
	職員数(正規 非常勤)		人	5.35		5.31		3.18		3.29			3.29
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	48,541		48,178		28,859	29,857	29,857		
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0	0		
	総事業費 + +		千円	88,613		87,522		74,448	70,116	44,445			
	単位あたりコスト ÷		円	25,700		25,383		21,592	20,335	21,034			
	財源	受益者負担分		千円	195		196		220	154	108		
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	195		196		220	154	108		
差引：一般財源 -		千円	88,418		87,326		74,228	69,962	44,337				
受益者負担比率 ÷		%	0.2		0.2		0.3	0.2	0.2				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		当初は事務所が土木と公園に別れていたが、平成5年度に統合され土木公園事務所が4箇所となった。同時に区内を二分して管轄するように工事第一課・第二課が組織されたが、平成13年度から区内全域を維持課が管轄。事務所も土木と公園に分割されそれぞれ2箇所組織された。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)												
	今後の予測		施設の老朽化は年々進み、防災を含めた安全性の確保が重要である。日常点検を徹底して大規模修繕の予防に努めるが、修繕費用は上昇する見込みである。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		占用・使用許可、取締				整理番号	704		枝番号					
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221610	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	748				
係名 監察指導係				上位施策名				NO						
予算事業名		占用・使用許可、取締		コード	61000		道路交通体系の整備		5					
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成				年度		(1) 道路法第16,42,43,46,71条							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 土木施設(道路・河川・橋梁及び公共溝渠等)の利用者						(2) 河川法第9,75,89条							
							(3) 杉並区公共溝渠管理条例							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 道路・河川・橋梁及び公共溝渠等の監察。不法占用・不正使用物件の調査取締り。						活動指標名(式) (1) 不法占用・不正取締り及び放棄バイク調査 撤去等の活動件数							
							(2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 安全で快適な歩行空間を確保する。						成果指標名(式) (1)								
						(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 安全で快適な歩行系道路を確保していくことを通じて道路交通体系の整備を図る。														
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
							計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		件	5459		8904		1410						
	活動指標(2)													
	成果指標(1)			5459		8904		1410						
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,130		751		1,487		965		1,369		特記事項
	(内)委託費		千円											
	職員数(正規 非常勤)		人	16.57		16.18		10.00		10.00		10.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	150,340		146,801		90,750		90,750		90,750	
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0	
	総事業費 ++		千円	151,470		147,552		92,237		91,715		92,119		
	単位あたりコスト ÷		円	27,747		16,571				65,046				
	財源	受益者負担分		千円										
		国 都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	184		443		423		386		423	
差引:一般財源 -		千円	151,286		147,109		91,814		91,329		91,696			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		道路・河川・橋梁及び公共溝渠等に関わる不正占用・不正使用は依然後を絶たず、引き続き強い取り組みが必要な環境にある。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		区民から様々な苦情・要望が区に寄せられている。特に近年は近隣関係(樹木のはみ出し・不法投棄・騒音に至るまで)の苦情・要望が増加の傾向にある。											
	今後の予測													

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		雨水樹清掃				整理番号	706		枝番号				
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	750		
係名		私道整備担当係長				上位施策名			NO				
予算事業名		私道整備助成		コード	61400		道路交通体系の整備			5			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		39年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区私道の整備に関する条例						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		私道管理者及び沿道住民		(2) 杉並区私道の整備に関する条例施行規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業内容を年1回(年度当初)広報に掲載し、年間を通じて申請を受けている。申請を受けた私道の雨水樹を年に1度清掃している。				(3)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		私道の排水処理を良好にすることにより、雨水樹からの悪臭を取り除き道路環境を保全し、沿道住民の衛生環境を確保する。				成果指標名(式)						
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		良好な道路環境を維持する。				(1) 申請に対する処理率						
						(2)							
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)		485	402	800	331	600						
	活動指標(2)		99	58		47							
	成果指標(1)		100	100	100	100	100						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,063	814	1,550	738	1,218	特記事項 申請主義のため目標値は定めなし。				
	(内)委託費		千円	1,063	814	1,550	738	1,218					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.63	0.63	0.02	0.02	0.02					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,716	5,716	182	182						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	6,779	6,530	1,732	920	1,218					
	単位あたりコスト ÷		円	13,977	16,244	2,164	2,778	2,030					
	財源	受益者負担分		千円									
		国都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	6,779	6,530	1,732	920	1,218						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成10年度までの申請箇所数は、年間800箇所前後だったが11年度以降年々減少している。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		個人、町会での雨水樹清掃は、汚泥の処理などの問題があるために区で清掃をしてほしい。										
	今後の予測		申請件数および清掃個数が減少していくものと思われる。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		舗装新設等工事				整理番号	707		枝番号			
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	751		
係名 私有道整備担当係長					上位施策名				NO			
予算事業名		私有道整備助成		コード	61400		道路交通体系の整備					
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 39年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区私有道の整備等に関する条例							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 私有道管理者及び沿道住民。				(2) 杉並区私有道の整備等に関する条例施行規則							
					(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 事業内容を年1回(年度当初)広報に掲載し、年間を通じて申請を受け、申請のあった私有道の舗装新設あるいは舗装改修を順次行っている。				活動指標名(式)							
					(1) 舗装面積(雨水流出抑制分を除く)							
				(2) 申請件数								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 沿道住民及び一般通行者の安全と利便性を高める。				成果指標名(式)								
				(1) 申請に対する処理率								
				(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 私有道を区道と同程度の道路状態にする。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		m ²	13,750	11,026	9,600	10,425	9,600				
	活動指標(2)		件	113	87		94					
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	227,635	129,005	151,744	164,157	113,320	特記事項			
	(内)委託費		千円	227,635	129,005	151,744	164,157	113,320	申請主義のため目標値は定めない。			
	職員数(正規 非常勤)		人	3.81	3.76	2.98	2.98	2.98				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	34,568	34,114	27,044	27,044	27,044				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	262,203	163,119	178,788	191,201	140,364				
	単位あたりコスト ÷		円	19,069	14,794	18,624	18,341	14,621				
	財源	受益者負担分		千円								
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	262,203	163,119	178,788	191,201	140,364					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		舗装面積は、近年徐々に減少傾向を示している。内容は、舗装新設が減少し、改修、補修が増大してきている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)		住民の費用負担が無いことから、私有道舗装への期待は非常に大きい。私有道を区で管理してもらえないか、といふ要望が多くなってきている。									
	今後の予測		区内の私有道は、ほぼ舗装は完了したといえるが、今後、老朽化した舗装の改修、補修が増大していくものと思われる。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		排水設備工事助成				整理番号	708		枝番号		
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	752	
係名		私道整備担当係長			上位施策名				NO		
予算事業名		私道整備助成		コード	61400		道路交通体系の整備				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		42年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区私道の整備等に関する条例				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区私道の整備等に関する条例施行規則						
	私道排水設備の利用者。		(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業内容を年1回(年度当初)広報に掲載し、年間を通じて申請を受付けている。その工事費に対して助成金を交付している。				活動指標名(式)				
	助成率 告示後3年以内 100%		告示後3年を超える 90%		改修 90%		(1) 施行延長 (2) 助成件数				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		沿道住民の衛生環境を向上させる。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		私道を区道と同程度の道路状態にする。				(1) 申請件数に対する処理率 (2)					
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	m	292	394	670	250	670				
	活動指標(2)	件	9	7		6					
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	17,686	24,607	25,607	17,383	25,620	特記事項 申請主義のため目標値は定めない。		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	1.27	1.25	1.25	1.25	1.25			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	11,523	11,341	11,344	11,344	11,344			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	29,209	35,948	36,951	28,727	36,964			
	単位あたりコスト ÷		円	100,030	91,239	55,150	114,907	55,170			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	29,209	35,948	36,951	28,727	36,964				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		以前は、数十件の新設の申請があったが、ここ数年は改修のみで10件にも満たない申請数である。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		下水管設置あるいは改修工事の助成金交付なので、住民の期待は大きい。また、下水管の老朽化により汚水桝から本管をつなぐ管が壊れることが多くなり、その管の修理費用を区が負担してほしい、との要望がある。								
	今後の予測		私道の下水道整備は、ほぼ完了している。今後、老朽化した下水管の改修の申請が増加して行くものと思われる。また、汚水桝の導水管(本管へつなぐ管)のみの改修の要望が増えてくるとされる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		雨水流出抑制対策（私道）				整理番号	709		枝番号		
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	752	
係名		私道整備担当係長			上位施策名				NO		
予算事業名		私道整備助成		コード	61400		道路交通体系の整備				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		2 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区私道の整備等に関する条例				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区私道の整備等に関する条例施行規則						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		交通量の少ない私道の舗装を透水性にすること。また、透水性舗装後数年が経過し、透水能力の落ちた舗装に対して洗浄を行い透水能力の回復を図る。		(3) 杉並区雨水流出抑制対策推進要綱						
	活動内容		交通量の少ない私道の舗装を透水性にすること。また、透水性舗装後数年が経過し、透水能力の落ちた舗装に対して洗浄を行い透水能力の回復を図る。		活動指標名（式）						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		雨水の浸透量を増やし、下水道への雨水流入量を減らすことで河川の増水を抑制し、台風や集中豪雨時の水害を防止する。		成果指標名（式）						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		災害に強いまちづくりと地下水の涵養に伴う自然環境の保護。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
指標	活動指標（1）		m ²	1,219	940	2,000	933	2,000			
	活動指標（2）		m ²	1,471	1,448	1,500	1,487	1,500			
	成果指標（1）		? / h	36.6	28.2	60	28	60			
	成果指標（2）		? / h	44.10	43.40	45.00	44.60	45.00			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	18,022	12,711	26,760	12,795	26,376	特記事項		
	（内）委託費		千円						申請主義のため目標値は定めなし。		
	職員数（正規 非常勤）		人	0.63	0.63	0.50	0.50	0.50			
	人件費	職員分（超勤分含む）	千円	5,716	5,716	4,538	4,538	4,538			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	23,738	18,427	31,298	17,333	30,914			
	単位あたりコスト ÷		円	19,473	19,603	15,649	18,577	15,457			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 -		千円	23,738	18,427	31,298	17,333	30,914				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		当初、わずかであった透水性舗装の道路も年々増加してきている。近年、都市型水害は河川付近だけでなく、区内の低地部にも被害をもたらしている。								
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待 要望 苦情など）		雨水を地中に戻すことによる、水害防止や地下水保護の意義を理解していただき、協力的である。								
	今後の予測		区内の不浸透面積は都市化により ますます拡大されていくと思われる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路維持補修				整理番号	710		枝番号						
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	754				
係名		工務係				上位施策名			NO						
予算事業名		道路維持補修		コード	61600		道路交通体系の整備			5					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		28年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 地方自治法 第281条								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 道路法 第16条 1項										
	区道(区有通路等を含む)を利用する歩行者や通過車輛及び沿道住民。		(3) 道路法 第42条 1項												
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		区道(区有通路等を含む)の日常の点検、住民からの要望による調査等により、道路の維持補修を行い、適正な管理を図る。					活動指標名(式)							
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		利用者にとって安全で快適な道路環境を維持する。					成果指標名(式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		安全で快適なみちづくり、道路の体系的な整備を行っている。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		m ²	25,782		35,339		35,000		24,987		34,900			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	95		98		100		98		100			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	458,122		446,669		461,778		455,845		438,995		特記事項	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	13.62	1.00	13.47	1.00	12.10		10.53	2.00	10.53	2.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	123,574		122,213		109,808		95,560		95,560		
		非常勤職員分		千円	2,939		2,939		0		5,932		5,932		
	総事業費 ++		千円	584,635		571,821		571,586		557,337		540,487			
	単位あたりコスト ÷		円	22,676		16,181		16,331		22,305		15,487			
	財源	受益者負担分		千円											
		国都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	584,635		571,821		571,586		557,337		540,487				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		交通量の増加による道路の損傷、道路環境に対する住民の意識の変化等により要望が増えている。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		要望に対する迅速な対応が期待されている。												
	今後の予測		区道延長及び交通量の増加によりますます道路の維持管理に対する要望が増えると思われる。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		雨水流出抑制対策(区道)				整理番号	711		枝番号		
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	755	
係名		工務係		上位施策名				NO			
予算事業名		道路維持補修		コード	61600	道路交通体系の整備				5	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		2年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 地方自治法 第281条				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 道路法 第16条 1項						
	水害の恐れのある地域の住民。		(3) 杉並区雨水流出抑制対策推進要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		透水性舗装後、数年が経過し透水能力が落ちた舗装に対して洗浄を行い透水能力の回復を図る。				活動指標名(式)				(1) 透水性洗浄面積
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		雨水の浸透量を増やし、下水道への雨水流入量を減らすことで台風や集中豪雨時の水害を防止する。				成果指標名(式)				(1) 雨水の地下への浸透量 0.03? / m ² (1時間あたり)	
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		災害に強いまちづくりと地下水の涵養に伴う自然環境の保護。									
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	m ²	14,651	15,232	15,000	15,216	15,000				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	? / h	440	457	450	456	450				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	7,137	7,189	7,860	7,699	7,755	特記事項			
	(内)委託費	千円			7,860	7,699	7,755				
	職員数(正規 非常勤)	人	0.99	0.97	0.18	0.19	0.19				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	8,982	8,801	1,634	1,724	1,724			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	16,119	15,990	9,494	9,423	9,479				
	単位あたりコスト ÷	円	1,100	1,050	633	619	632				
	財源	受益者負担分	千円								
		国 都等からの支出金	千円								
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	16,119	15,990	9,494	9,423	9,479				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	当初、わずかであった透水性舗装の道路も年々増加してきている。近年、都市型水害は河川付近だけでなく、区内低地部にも被害をもたらしている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	雨水を地中に戻すことによる、水害防止や地下水保護の意義を理解していただき、協力的である。									
	今後の予測	区内の不浸透面積は都市化により、ますます拡大されていくと思われる。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		昇降機維持運営				整理番号	712		枝番号						
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	756					
係名		工務係			上位施策名				NO						
予算事業名		道路維持補修		コード	61600	道路交通体系の整備				5					
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		10年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 地方自治法 第281条								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		井荻地下道を利用する高齢者や障害者。		(2) 道路法 第16条 1項								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		24時間の保守監視と定期的な点検を行う。また、身体に障害のある人の利用に伴い、必要に応じて介助を行う。				活動指標名(式)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		介助者を置くことにより、身障者や車椅子使用者に安心感を持って利用してもらう。				成果指標名(式)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 車椅子等での地下道通行を可能にし、福祉環境まちづくりを推進する。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標(1)		日	359		365		365		365					
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		回	72		0		0		0					
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,837		9,260		11,457		11,161		9,449		特記事項 介助者件数は、車椅子等利用者が地下道通行の際、本人の必要に応じて介助を利用するもので、計画数及び目標値は示せない。(平成11年2月6日より運行)	
	(内)委託費		千円					10,578		10,570		8,570			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50		0.50		0.23		0.24		0.24			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,537		4,537		2,087		2,178		2,178		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	13,374		13,797		13,544		13,339		11,627			
	単位あたりコスト ÷		円	37,252		37,799		37,108		36,545		31,855			
	財源	受益者負担分		千円											
		国都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	13,374		13,797		13,544		13,339		11,627				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年2月に西武鉄道井荻駅踏切閉鎖に伴い、エスカレーターの運行が始まった。当初、午前6時45分から午後7時45分までの運行であったが、住民の要望により平成11年5月1日より午後10時まで運行時間を延長し、現在に至る。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		運行当初は運行時間の延長や、下りエスカレーターの設置の要望があったが、最近は何もない。												
	今後の予測		住民の高齢化により、利用者が増えていくと予測される。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路等清掃				整理番号	713		枝番号		
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	757	
係名		工務係			上位施策名				NO		
予算事業名		道路等清掃		コード	61800	道路交通体系の整備				5	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		28 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地方自治法 第281条				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 道路法 第42条 1項						
	区道を利用する歩行者や通過車輛及び、沿道住民。		(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		清潔な道路環境を維持するために、清掃対象路線 (区道) の清掃を行う。				活動指標名 (式)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		区と区民が一体となって清潔な道路環境を整備する。				成果指標名 (式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		清潔な道路環境を維持している。				(1) 清掃回数 清掃総延長 (km) / 清掃対象路線延長 (50km)					
							(2)				
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標 (1)	km	2,518	2,413	2,400	2,529	1,800				
	活動指標 (2)										
	成果指標 (1)	回	21	48	48	50	36				
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	100,020	91,348	85,677	81,987	60,831	特記事項		
	(内)委託費		千円			83,789	80,467	60,393			
	職員数 (正規 非常勤)		人	5.35	5.29	2.36	2.44	2.44			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	48,541	47,996	21,417	22,143	22,143			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	148,561	139,344	107,094	104,130	82,974			
	単位あたりコスト ÷		円	58,999	57,747	44,623	41,174	46,097			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	148,561	139,344	107,094	104,130	82,974				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		失業対策の一環として始められた事業であるが、現在では民間委託へ移行 (機械化)している。また、へい死犬猫収集処理については、平成 14年度より清掃事業との一元化を図った。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		住民自ら清掃を行っている個所があり 路線見直しの声もあったため、平成 12年度に清掃対象路線を見直した。								
	今後の予測		清掃対象路線については、より選定に注意を払う必要があると思われる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		水のみち維持補修				整理番号	714		枝番号		
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	758	
係名		工務係			上位施策名				NO		
予算事業名		水のみち維持補修		コード	62000		道路交通体系の整備			5	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地方自治法 第281条				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		水のみち（水路敷を埋め立てた歩行者専用道路）の利用者及び沿道の住民。		(2) 道路法 第42条 1項				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		破損箇所の補修工事や、境界が是正された箇所の側溝の移設工事等を行う。				活動指標名（式）				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		利用者の安全な通行の確保と、地先との境界線の明確化を進めながら適性な管理状態にする。				成果指標名（式）				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		整備された歩行空間への誘導による交通事故の抑制と用地の保全。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		m ²	94,733	94,733	94,733	94,733	94,701			
	活動指標(2)		m ²	1,618	1,641	1,230	1,385	1,300			
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100			
	成果指標(2)		%	93	133	100	112	100			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	30,542	28,392	30,878	30,650	23,946	特記事項		
	(内)委託費		千円			30,870	30,650	23,939			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.82	1.02	0.78	0.81	0.81			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,440	9,254	7,079	7,351	7,351			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	37,982	37,646	37,957	38,001	31,297			
	単位あたりコスト ÷		円	401	397	401	401	330			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	37,982	37,646	37,957	38,001	31,297				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		水のみちは下水道の普及とともに昭和30~40年代に一齐に埋め立てられた水路敷で、貴重な歩行空間であるが、近年老朽化が目立ってきている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		舗装、側溝の破損や水が溜まるなどの要望がある。								
	今後の予測		今後も舗装の破損や境界の是正が日常的に生じ、事業を継続する必要がある。また、地方分権一括法の施行により財産が区に譲与されるため、公共用地の保全を図ることが不可欠である。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		駅前広場噴水維持管理				整理番号	716		枝番号	
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	760
係名		工務係		上位施策名				NO		
予算事業名		街路樹等維持管理		コード	62200		道路交通体系の整備		5	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		47年度		根拠法令等			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		駅前広場噴水施設（阿佐ヶ谷駅南口、高円寺駅南口・北口）の利用者		(1) 地方自治法 第281条 (2) 道路法 第42条 (3) 道路法 第85条			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		定期的に噴水設備の点検、広場・噴水の清掃を行う。		活動指標名（式）		(1) 噴水施設の点検回数 (2) 駅前広場の清掃回数			
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		駅前広場を水とみどりに親しむ憩いの場とする。		成果指標名（式）		(1) 点検実施率 (2) 清掃実施率			
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民の憩いの場であり、そのまちや駅のシンボリックな存在価値がある。							
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	回	12	6	6	6	6			
	活動指標(2)	回	50	50	50	50	100			
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100			
	成果指標(2)	%	100	100	100	100	100			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	9,984	6,385	5,846	6,258	12,601	特記事項		
	(内)委託費	千円			3,257	4,151	9,968	平成14年度、高円寺駅前広場噴水(南口・北口)において、配電盤の取り替え工事を行う(予算:5,500千円)		
	職員数(正規 非常勤)	人	1.01	1.01	0.23	0.24	0.24			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,164	9,164	2,087	2,178			2,178
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++	千円	19,148	15,549	7,933	8,436	14,779			
	単位あたりコスト ÷	円	1,595,644	2,591,455	1,322,208	1,406,000	2,463,167			
	財源	受益者負担分	千円							
		国都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	19,148	15,549	7,933	8,436	14,779			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	駅前広場のシンボリックな存在である噴水は、区民にとって憩いの場となっている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	噴水施設のある駅前広場は少ないので、きれいで清潔な状態を保ってほしい。								
	今後の予測	施設が老朽化が進んでいるので、大規模な修繕工事の必要がある。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全施設維持補修			整理番号	732		枝番号		
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		
係名		交通安全施設係			上位施策名			NO		
予算事業名		交通安全施設維持補修		コード	64000		交通安全の推進			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36年度		根拠法令等			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 道路法第42条 (3)					
	区が管理する道路の利用者									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		破損した交通安全施設の補修工事及び、道路反射鏡・ガードレール・フラッシュアイの清掃を行う。フラッシュアイの電気料金を支払う。							
活動指標名 (式)		(1) 修理件数(反射鏡・防護柵・標識) (2)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		区が管理する道路における交通安全施設の機能を適正に保持することにより、道路利用者の安全を確保する。								
成果指標名 (式)		(1) 稼働率 = (管理数 × 365日 - 修理件数 × 修理日数) ÷ (管理数 × 365日) (2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか										
交通安全施設の機能を維持することで、交通事故の防止を図っている。										

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%
				計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)	件	733	666	549	543	549		
	活動指標(2)								
	成果指標(1)	%	99.9	99.9	100	100	100		
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	63,071	63,109	56,924	55,403	55,241	特記事項	
	(内)委託費	千円	60,070	59,947	54,220	52,931	52,542	H13年度修理対象管理数 ・反射鏡 5,935面 防護柵 12,159基(3m/基換算) ・標識 1,494枚 計 19,588 H13年度修理件数 (内、個所あたり)修理件数 ・反射鏡509件(3.5日) 防護柵118件(18日) 標識39件(9.9日) H13年度交通安全施設清掃 ・道路反射鏡面およびフラッシュアイ清掃は年1回実施、防護柵は1/2実施。	
	職員数(正規 非常勤)	人	1.89	2.15	2.26	2.24	2.67		
	人件費	千円	17,148	19,507	20,510	20,328	24,230		
	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0	0		
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	80,219	82,616	77,434	75,731	79,471		
	単位あたりコスト ÷	円	109,439	124,048	141,045	139,468	144,756		
	財源	千円							
	受益者負担分	千円							
国 都等からの支出金	千円								
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -	千円	80,219	82,616	77,434	75,731	79,471			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	人口や交通量の増加により交通事故等の危険性も大きくなったことから、交通安全施設の整備拡充を進めている。これに伴い維持補修件数も増加している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	即時対応が求められている。
	今後の予測	主だった危険箇所については既に交通安全施設の整備充実が進んでいることから、今後は大幅な交通安全施設の増加はないものと考えられる。因って、維持補修工事等の件数についても同様に現状維持若しくは微増で推移するものと予測する。

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路反射鏡新設・改良				整理番号	733		枝番号	
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	779
係名 交通安全施設係					上位施策名				NO	
予算事業名		交通安全施設整備		コード	64200		交通安全の推進			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 43 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 地方自治法第2条第3項第8号					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区が管理する道路の利用者				(2) 道路法第2条及び第85条					
					(3) 道路法施行令第34条の3					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 見通しの悪い交差点や屈曲部等に道路反射鏡を新設し、道路の視距を改善する。また、老朽化した施設の改良及び更新を行う。				活動指標名 (式)					
					(1) 新設 改良数					
				(2) 管理数値 (鏡面数)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 道路利用者に対し十分な視距離を確保して、道路交通の安全を保つ。				成果指標名 (式)						
				(1) 整備対応率 = 管理数 ÷ 交差点面数						
				(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 交通安全施設を整備することで、交通事故の防止を図っている。										
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標 (1)		本	216	234	100	101	100		
	活動指標 (2)		面	5865	5935	5965	6027	6057		
	成果指標 (1)		%	33	33	34	34	34		
	成果指標 (2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	27,055	24,395	14,370	14,103	12,200	特記事項	
	(内)委託費		千円	27,055	24,395	14,370	14,103	12,200	平成13年度実績内訳 新設本数 42本 ・改良本数 59本	
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.80	0.83	0.57	0.57	0.59		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,258	7,531	5,173	5,173	5,354		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	34,313	31,926	19,543	19,276	17,554		
	単位あたりコスト ÷		円	158,858	136,434	195,428	190,849	175,543		
	財源	受益者負担分		千円						
		国 都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	34,313	31,926	19,543	19,276	17,554			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		人口や交通量の増加により交通事故等の危険性も大きくなり、これに合わせて道路反射鏡の整備を進めてきたが、現在も反射鏡の設置を必要とする交差点は、数多く存在する。また、既存施設の老朽化も進んでおり、この改修も必要となっている。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		見通しの悪い交差点への道路反射鏡の設置要望が多い。 私道への反射鏡設置要望があるが、現在の制度では維持管理の問題から新設はできない。 反射鏡設置後における地先の建築等の理由による移設は、道路法により原因者の負担となることから、新設の際に民有地側の設置承諾が得られないことがある。							
	今後の予測		今後モ道路反射鏡の新設及び改良の必要性が見込まれる。							

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		警戒標識等新設・改良				整理番号	734		枝番号			
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	780		
係名		交通安全施設係			上位施策名				NO			
予算事業名		交通安全施設整備		コード	64200		交通安全の推進					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36年度		根拠法令等					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 道路法第2条、第45条、並びに第85条 (3) 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令(昭和35年総理府建設省令第3号)							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		交差点、道路の屈曲部、踏み切りなど危険箇所注意を喚起するための標識を、また道路管理者が行う規制箇所に周知のための標識を設置する。更に、老朽化した標識の改修を行う。				活動指標名(式)					
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		道路利用者に対し、道路状況や沿道状況、注意の予告をすることにより、道路交通の安全を確保する。				成果指標名(式)					
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		交通安全施設を整備することで、交通事故の防止を図っている。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		本	81	68	45		43		45		
	活動指標(2)		枚	1493	1494	1494		1482		1482		
	成果指標(1)		m/枚	444	444	444		449		449		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,838	2,384	2,186		2,219		2,186	特記事項 平成13年度実績内訳 ・新設本数 3本 ・改良本数 40本	
	(内)委託費		千円	3,838	2,384	2,186		2,219		2,186		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.12		0.08		0.08		0.09		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,089	726	726		817			998
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0			0
	総事業費 ++		千円	4,927	3,110	2,912		3,036		3,184		
	単位あたりコスト ÷		円	60,824	45,733	64,711		70,599		70,761		
	財源	受益者負担分		千円								
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0		0			0
差引:一般財源 -		千円	4,927	3,110	2,912		3,036		3,184			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		警戒標識等の新設整備はほぼ完了している。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		特にない。									
	今後の予測		老朽化した標識を順次改修する必要がある。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		フラッシュアイ新設・改良				整理番号	735	枝番号				
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604	連絡先電話番号	4603	昨年度整理番号	782			
係名 交通安全施設係					上位施策名			NO				
予算事業名		交通安全施設整備		コード	64200	交通安全の推進			6			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 46年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 地方自治法第2条第3項第8号							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区が管理する道路の利用者				(2) 道路法第2条及び第85条							
					(3) 道路法施行令第34条の3							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 夜間において交差点の所在を明示するため、点滅式のフラッシュアイを新設する。また、老朽化した施設を改修または改良する。				活動指標名(式) (1) 新設・改良数 管理数値 (2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 夜間の交差点の所在を明確にすることで、出会い頭の事故等を防止し、道路利用者の安全を確保する。				成果指標名(式) (1) 整備対応率 = 管理数 ÷ 交差点個所数 (2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 交通安全施設を整備することで、交通事故の防止を図っている。												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		基	21	39	19	22	19				
	活動指標(2)		基	349	357	367	363	373				
	成果指標(1)		%	4.9	5	5.2	5.2	5.3				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,760	11,469	12,653	11,518	5,511	特記事項			
	(内)委託費		千円	12,760	11,469	12,653	11,518	5,511	平成13年度実績内訳 ・新設基数 7基 ・改良基数 15基			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.38	0.39	0.50	0.47	0.27				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,448	3,538	4,538	4,265	2,450				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	16,208	15,007	17,191	15,783	7,961				
	単位あたりコスト ÷		円	771,797	384,807	904,763	717,420	419,013				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	16,208	15,007	17,191	15,783	7,961					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		人口や交通量の増加により交通事故等の危険性も大きくなり、これに合わせてフラッシュアイの整備を充実してきた。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		交差点の明示による交通事故抑止手段の一つとしての区民のニーズは高い。									
	今後の予測		施設整備は充実していることから大幅な需要増はないが、必要性は大きい。また、老朽施設の改良改修が必要となる。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地点名標識板新設・改良				整理番号	736		枝番号					
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	783			
係名				交通安全施設係				上位施策名			NO			
予算事業名				交通安全施設整備				コード			64200			
								交通安全の推進			6			
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		50 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 地方自治法第2条第3項第8号					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区が管理する道路の利用者		(2) 道路法第2条、第45条、並びに第85条					
									(3) 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令(昭和35年総理府建設省令第3号)					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				信号機が設置された所に、地点名標識を設置する。また、老朽化した標識の改修を行う。				活動指標名(式)					
									(1) 新設 改良数					
								(2) 管理数値						
意図(対象をどのような状態にしたいのか)				道路利用者に地点名や施設名等必要な情報を表示し、道路交通の安全性及び円滑性を確保する。				成果指標名(式)						
								(1) 整備対応率 = 管理数 ÷ 区道上の信号機数						
								(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
交通安全施設を整備することで、交通事故の防止を図っている。														
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度				14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)		枚	23	7	10	8		10					
	活動指標(2)		枚	417	413	434	434		434					
	成果指標(1)		%	100	100	100	100		100					
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,250	826	780	756		0	特記事項				
	(内)委託費		千円	2,250	826	780	756		0	平成13年度実績内訳 ・新設枚数 0枚 改良枚数 8枚				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.07	0.03	0.03	0.03		0.00					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	635	272	272	272					0	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0					0	
	総事業費 ++		千円	2,885	1,098	1,052	1,028		0					
	単位あたりコスト ÷		円	125,440	156,884	105,225	128,531		0					
	財源	受益者負担分		千円										
		国 都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0					0	
差引:一般財源 -		千円	2,885	1,098	1,052	1,028		0						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		地点名標識板の新設整備はほぼ完了している。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		設置要望は特にない。名称に対する意見があった。											
	今後の予測		新設箇所は少ない。老朽化した標識を順次改修する必要がある。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		白線整備				整理番号	737		枝番号						
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	784				
係名					交通安全施設係			上位施策名		NO					
予算事業名					交通安全施設整備			コード		64200					
					交通安全の推進					6					
事務事業の概要	事業開始年度					<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期					<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地方自治法第2条第3項第8号					
	対象					<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 道路法第2条、第45条、並びに第85条							
	区が管理する道路の利用者					(3) 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令(昭和35年総理府建設省令第3号)									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)					道路の舗装面上に、ペイントを用いて通行帯明示のための白線を引く。また、摩耗した白線を更新する。					活動指標名(式)			(1) 白線施工数	
											(2) 管理数値				
意図(対象をどのような状態にしたいのか)					車両及び歩行者の通行区分を明確にして、道路利用者に対し案内及び警戒を促すことにより、道路交通の円滑と安全を図る。					成果指標名(式)			(1) 白線設置率 = 白線設置延長 ÷ 道路延長		
										(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
交通安全施設を整備することで、交通事故の防止を図っている。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
							計画		実績		年度				
指標	活動指標(1)		m	55810	55687	65000	72672	65000							
	活動指標(2)		m	517710	517780	517780	517780	517780							
	成果指標(1)		%	78.1	78	78	78	78							
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	24,741	24,715	31,200	31,446	31,200	特記事項						
	(内)委託費		千円	24,741	24,715	31,200	31,446	31,200							
	職員数(正規 非常勤)		人	0.74	0.84	1.25	1.27	1.51							
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,714	7,621	11,344	11,525	13,703						
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	31,455	32,336	42,544	42,971	44,903							
	単位あたりコスト ÷		円	564	581	655	591	691							
	財源	受益者負担分		千円											
		国都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	31,455	32,336	42,544	42,971	44,903								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区画線はほぼ充実しており新規設置は少ないが、交通量の増加とともに白線の摩耗が激しくなり更新工事の必要性が高くなっている。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		白線摩耗箇所の更新に関する要望がある。外側線は、道路交通法の路側帯と見なされることから警察および住民からの新設要望がある。												
	今後の予測		現状どおり推移する。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		点字ブロック新設・改良				整理番号	738		枝番号						
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	785				
係名				交通安全施設係				上位施策名			NO				
予算事業名		交通安全施設整備		コード	64200		交通安全の推進			6					
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60		年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成		年度		(1) 地方自治法第2条第3項第8号				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区が管理する道路の利用者						(2)		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				視覚障害者が道路を通行する際の補助となる誘導ブロックを、道路面上に設置する。				活動指標名 (式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				視覚障害者を安全かつスムーズに目的地まで誘導する。				成果指標名 (式)						
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				交通安全施設を整備することで、交通事故の防止を図っている。								(1) 整備対応率 = 点字ブロック管理延長 ÷ 道路延長		(2)
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%					
					計画	実績	計画	年度							
指標	活動指標 (1)		枚	942	1367	500	1041	500							
	活動指標 (2)		枚	11472	12839	13339	14635	15135							
	成果指標 (1)		%	0.5	0.6	0.6	0.7	0.7							
	成果指標 (2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,471	5,642	5,643	5,515	5,643	特記事項						
	(内)委託費		千円	5,471	5,642	5,643	5,515	5,643							
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.16	0.19	0.22	0.22	0.27							
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,452	1,724	1,997	1,997	2,450							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	6,923	7,366	7,640	7,512	8,093							
	単位あたりコスト ÷		円	7,349	5,388	15,279	7,216	16,187							
	財源	受益者負担分		千円											
		国 都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	6,923	7,366	7,640	7,512	8,093								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		交通量の増加による交通事故等の危険性が増大しているなかで、障害者の社会進出も進んできたことから、点字ブロックの整備を拡充してきている。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		障害者団体から、駅と周辺の区立施設の経路上等への点字ブロックの設置要望がある。点字ブロック上でのスリップ転倒、欠損による躓き事故防止に関する要望がある。												
	今後の予測		整備は進んでいるが、今後も整備拡充が必要。事業実施初期に整備した施設の改修が必要となる。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すべり止め舗装				整理番号	739		枝番号		
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	786	
係名		交通安全施設係			上位施策名				NO		
予算事業名		交通安全施設整備		コード	64200	交通安全の推進				6	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		1 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 地方自治法第2条第3項第8号				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 道路法第2条、第45条、第85条						
	区が管理する道路の利用者						(3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		道路のカーブ、交差点等の舗装面上にカラーすべり止め舗装を行う。				活動指標名 (式)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		道路のカーブ及び坂路のスリップ防止、また交差点等における色彩の変化による注意喚起により交通事故を抑止する。				成果指標名 (式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		交通安全施設を整備することで、交通事故の防止を図っている。									
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標 (1)	m ²	955	894	1400	1442	1400				
	活動指標 (2)	m ²	18200	19085	20485	23470	24870				
	成果指標 (1)	%	0.6	0.6	0.6	0.7	0.8				
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,280	8,272	12,698	12,603	11,200	特記事項		
	(内)委託費		千円	8,280	8,272	12,698	12,603	11,200	平成13年度実績内訳 ・新設 1,442m ²		
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.25	0.28	0.50	0.51	0.54			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,268	2,540	4,538	4,628	4,901			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	10,548	10,812	17,236	17,231	16,101			
	単位あたりコスト ÷		円	11,045	12,094	12,311	11,950	11,500			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	10,548	10,812	17,236	17,231	16,101				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		交通量の増加に伴い事故等の危険性が増大したことから、カーブや坂路のすべり止め目的だけでなく、通学路の導入表示及び注意が必要な交差点の明示手段としての需要が高くなってきた。このような状況の中で整備を拡充してきたが、まだ新設要望は多く、摩耗に伴う既存施設の更新も必要となっている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		すべり止めとしての要望は少ないが、事故が発生する恐れのある交差点部分のカラー化による事故防止要望が増えている。								
	今後の予測		整備は進んでいるが、摩耗箇所との更新と合わせて、危険な交差点等の明示方法としてのニーズが高まると予測される。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		防護柵の改良				整理番号	740		枝番号		
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	787	
係名		交通安全施設係			上位施策名				NO		
予算事業名		交通安全施設整備		コード	64200		交通安全の推進				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		6 年度		根拠法令等				
	事業終期		○ 無 ● 有		平成 46 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 道路法第2条及び第85条 (3)				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区が管理する道路の利用者								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		老朽化した既存のガードレールを、交通状況や周囲の景観に配慮した防護柵に改修する。				活動指標名 (式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		車両が歩道等へ逸脱するのを防ぐとともに、歩行者がみだりに車道横断をするのを抑制することにより、道路利用者の安全を確保する。				成果指標名 (式)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
交通安全施設を整備することで、交通事故の防止を図っている。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標 (1)		m	962	851	1000	991	1000			
	活動指標 (2)		m	8930	9781	10781	10772	11772			
	成果指標 (1)		%	24.1	26.8	29.6	29.2	31.9			
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	19,800	19,732	37,935	37,699	20,000	特記事項		
	(内)委託費		千円	19,800	19,732	37,935	37,699	20,000	柵管理数値(H14.4.1) 36,846m		
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.59	0.67	1.51	1.53	0.97			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	5,353	6,079	13,703	13,885			8,803
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	25,153	25,811	51,638	51,584	28,803			
	単位あたりコスト ÷		円	26,147	30,330	51,638	52,052	28,803			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引：一般財源 -		千円	25,153	25,811	51,638	51,584	28,803				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		計画的に改良を進めている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		車両の交通量が多い道路に対し、防護柵新設要望があるが、道路幅員が狭いなどの理由により設置が不可能な路線が大半である。また、防護柵新設は、宅地からの出入りなど沿道住民の生活に与える影響が大きいため、地域全体の賛同が得られにくい。 既存ガードレールを改修する必要性に対する意見があった。								
	今後の予測		改良計画の途中であり 既存施設の老朽状況を考慮の上で、今後も改良を進める必要がある。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		立看板等				整理番号	741		枝番号					
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	788			
係名					交通安全施設係			上位施策名		NO				
予算事業名					交通安全施設整備			コード	64200		交通安全の推進			
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地方自治法第2条第3項第8号					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)							
	区が管理する道路の利用者				(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名 (式)								
	道路上の危険な箇所等に、交通標識や路面表示の補完として、道路利用者の注意を喚起するための簡易な立看板を設置する。					(1) 立看板設置数								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名 (式)									
道路利用者に対し、道路形状や沿道状況の予告及び、交通マナー遵守を喚起することにより、道路交通の安全を確保する。					(1) 看板設置数 = 道路延長 ÷ 看板管理数									
					(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
交通安全施設を整備することで、交通事故の防止を図っている。														
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%					
				計画	実績		年度							
指標	活動指標 (1)	枚	125	137	130	113	130							
	活動指標 (2)	枚	1258	1395	1525	1581	1711							
	成果指標 (1)	m/枚	527	475	435	421	389							
	成果指標 (2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,596	1,398	1,309	1,308	1,479	特記事項					
	(内)委託費		千円											
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.05	0.05	0.05	0.06	0.07						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	454	454	454	545	635						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	2,050	1,852	1,763	1,853	2,114						
	単位あたりコスト ÷		円	16,397	13,516	13,560	16,394	16,263						
	財源	受益者負担分		千円										
		国 都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	2,050	1,852	1,763	1,853	2,114							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		交通量の増加に伴い事故等の危険性も増大したことから、注意を促す看板の需要が高まっている。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		標識では伝えきれない情報や、法の規制を周知徹底する上での設置要望が多い。											
	今後の予測		他の交通安全施設事業を補完する面での需要が高まる。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯維持補修				整理番号	742		枝番号				
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221607		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	789		
係名		街路灯係				上位施策名			NO				
予算事業名		街路灯維持補修		コード	60700		交通安全の推進			6			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		33 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地方自治法第2条第3項第8号						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		すべての区道利用者		(2) 杉並区街路灯設置基準						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		既設街路灯のポール等塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理および電気料等の支払いを行う。				活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。				成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		街路灯の機能と構造を維持し、夜間の防犯、道路交通の安全を図る。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		灯	24,502	24,785	24,813		24,890		24,918			
	活動指標(2)		件	1,362	1,241	3,468		1,308		3,468			
	成果指標(1)		%	99.98	99.99	99.96		99.99		99.96			
	成果指標(2)		%	5.56	5.01	13.98		5.26		13.93			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	229,366	200,261	218,404		210,248		226,111		特記事項	
	(内)委託費		千円			90,795		86,631		93,584			
	職員数(正規 非常勤)		人	6.85	6.80	4.23		4.22		4.26			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	62,150	61,696	38,387		38,297		38,660		
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0		0		
	総事業費 ++		千円	291,516	261,957	256,791		248,545		264,771			
	単位あたりコスト ÷		円	11,898	10,569	10,349		9,986		10,626			
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	291,516	261,957	256,791		248,545		264,771				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		都市化に伴い防犯と道路交通の安全対策に関する要請が増大しており 施設整備が進展している。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		街路灯は防犯上の理由などから依然強い設置要望がある。										
	今後の予測		都市化に伴い防犯と道路交通の安全対策に関する要請により 街路灯の整備は一定の水準に達しつつあり 今後施設が急増する可能性は少ない。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯新設				整理番号	743		枝番号			
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221607	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	790		
係名				街路灯係		上位施策名				NO		
予算事業名				街路灯新設・改修		コード	60850		交通安全の推進		6	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		33年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 地方自治法第2条第3項第8号			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		すべての区道利用者		(2) 杉並区街路灯設置基準			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				街路灯を新設する。				(3) 道路法第42条			
	活動指標名(式)								(1) 街路灯新設数			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				街路灯を新設し、安全性を向上する。				(2) 街路灯設置要望件数			
成果指標名(式)								(1) 街路灯整備率 = 街路灯管理数 / (区道延長 × 有効率 / 30)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				街路灯を新設し、夜間の防犯、道路交通の安全を図る。				(2) 新設実績数前年度比率				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 街路灯を新設し、夜間の防犯、道路交通の安全を図る。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標(1)		灯	49	34	28	34	28				
	活動指標(2)		件	17	17	17	26	26				
	成果指標(1)		%	97.55	97.41	97.51	97.81	97.88				
	成果指標(2)		%	94.23	69.39		100.00					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,808	3,886	5,009	4,344	5,009	特記事項			
	(内)委託費		千円			4,861	4,317	4,861	成果指標名(式)街路灯整備率の? 「有効率」とは区道延長のうち商店街等により整備済みの率。「30」とは街路灯の標準設置間隔30m			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.21	0.13	0.10	0.09	0.09				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,905	1,179	908	817	817				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	8,713	5,065	5,917	5,161	5,826				
	単位あたりコスト ÷		円	177,823	148,985	211,304	151,787	208,063				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	8,713	5,065	5,917	5,161	5,826					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		都市化に伴い防犯と道路交通の安全対策に関する要請が増大しており 施設整備が進展している。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		街路灯は防犯上の理由などから依然強い設置要望がある。									
	今後の予測		都市化に伴い防犯と道路交通の安全対策に関する要請により 街路灯の整備は一定の水準に達しつつあり 今後施設が急増する可能性は少ない。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯改修				整理番号	744		枝番号	
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221607	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	
係名		街路灯係				上位施策名			NO	
予算事業名		街路灯新設・改修		コード	60850	交通安全の推進			6	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		33 年度		根拠法令等			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準 (3) 道路法第42条					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		老朽化した街路灯を改修する。				活動指標名(式)			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		街路灯を改修し、安全性を向上する。				成果指標名(式)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		街路灯の機能・構造を保全し、防犯、道路交通の安全を図る。								
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		灯	117	147	150	183	150		
	活動指標(2)		灯	1,146	1,443	1,000	1,052	1,000		
	成果指標(1)		%	86.67	108.89	100	122	100		
	成果指標(2)		%	124.30	91.16	100.00	105.20	100.00		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	157,700	111,001	118,606	116,057	118,736	特記事項	
	(内)委託費		千円			116,336	113,741	116,336		
	職員数(正規 非常勤)		人	4.69	3.77	2.30	2.32	2.24		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	42,552	34,205	20,873	21,054	20,328		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	200,252	145,206	139,479	137,111	139,064		
	単位あたりコスト ÷		円	1,711,559	987,797	929,857	749,240	927,093		
	財源	受益者負担分		千円						
		国 都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	200,252	145,206	139,479	137,111	139,064			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		都市化に伴い防犯と道路交通の安全対策に関する要請が増大しており 施設整備が進展している。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		街路灯は機能と構造の保全が常に求められており その対応には「迅速さ」が望まれている。							
	今後の予測		街路灯の整備は一定の水準に達しつつある。しかし、ほとんどの街路灯は設置後30年以上経過しており特に構造の安全性が低下している。今後、構造の更新を重点的に行い安全性を維持する必要がある。							

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民有灯補修				整理番号	745		枝番号								
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221607		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	794						
係名					街路灯係					上位施策名		NO					
予算事業名					民有灯助成(維持補修)					コード		61100					
										交通安全の推進		6					
事務事業の概要	事業開始年度					● 昭和 ○ 平成		36 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期					● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 地方自治法第2条第3項第8号							
	対象					<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		すべての道路利用者				(2) 地方自治法第232条の2					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					既設私道街路灯のポール等塗装・ランプ取替・故障修理及び破損修理を行う。				活動指標名(式)				(1) 私道街路灯管理数			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					私道街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。				成果指標名(式)				(1) 私道街路灯稼働率 = (私道街路灯管理数 × 365(日)) - (私道街路灯修理件数 × 修理日数) / 私道街路灯管理灯数 × 365(日)			
					意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				私道街路灯の機能と構造を維持し、防犯、道路交通の安全を図る。				(2) 私道街路灯修理率 = 私道街路灯修理件数 / 私道街路灯管理数				
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%							
					計画	実績	計画	年度									
指標	活動指標(1)		灯	8,237	8,237	8,263	8,256	8,282									
	活動指標(2)		件	533	583	1,210	1,047	1,210									
	成果指標(1)		%	99.98	99.98	99.96	99.97	99.96									
	成果指標(2)		%	6.47	7.08	14.64	12.69	14.61									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	33,622	29,269	31,684	30,001	34,894	特記事項								
	(内)委託費		千円			31,180	28,414	34,391									
	職員数(正規 非常勤)		人	1.00	0.99	0.61	0.60	0.66									
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,073	8,982	5,536	5,445	5,990									
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0									
	総事業費 + +		千円	42,695	38,251	37,220	35,446	40,884									
	単位あたりコスト ÷		円	5,183	4,644	4,504	4,293	4,936									
	財源	受益者負担分		千円													
		国 都等からの支出金		千円													
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0								
差引:一般財源 -		千円	42,695	38,251	37,220	35,446	40,884										
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		都市化に伴い防犯と道路交通の安全対策に関する要請が増大しており 施設整備が進展している。														
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		私道街路灯は機能と構造の維持が常に求められており その対応には「迅速さ」が望まれている。														
	今後の予測		都市化に伴い防犯と道路交通の安全対策に関する要請により 私道街路灯の整備は一定の水準に達しつつある。器具改修 ポール建替 改修事業と組み合わせれば、今後施設の維持補修量が急増する可能性は少ない。														

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		電気料助成				整理番号	746		枝番号					
所属部課名 都市整備部維持課			コード	221607		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	795				
係名 街路灯係					上位施策名				NO					
予算事業名 民有灯助成(維持補修)			コード	61100		交通安全の推進				6				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 36年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 地方自治法第2条第3項第8号									
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 私道街路灯所有町会等の団体・すべての道路利用者				(2) 地方自治法第232条の2									
					(3) 杉並区民有灯の整備等に関する条例及び施行規則									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 申請に基づき私道街路灯電気料の支払いなどを行う。					活動指標名(式)								
						(1) 電気料助成灯数 (2)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 私道街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。					成果指標名(式)									
					(1) 電気料助成率 = 電気料助成灯数 / 電気料助成申請灯数 (2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 私道街路灯の機能を維持し、防犯、道路交通の安全を図る。														
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
							計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		灯	8,579		8,552		8,752		8,573		8,749		
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	100		100		100		100		100		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	23,665		24,431		27,777		26,999		28,175	特記事項	
	(内)委託費		千円					0		0		0		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.70		0.83		0.54		0.54		0.53		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,351		7,531		4,901		4,901			4,810
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 ++		千円	30,016		31,962		32,678		31,900		32,985		
	単位あたりコスト ÷		円	3,499		3,737		3,734		3,721		3,770		
	財源	受益者負担分		千円										
		国 都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0			0
差引:一般財源 -		千円	30,016		31,962		32,678		31,900		32,985			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		都市化に伴い防犯と道路交通の安全対策に関する要請が増大しており 施設整備が進展している。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		私道街路灯の電気料支払い事務事業であり 特に住民の要望はない。											
	今後の予測		都市化に伴い防犯と道路交通の安全対策に関する要請により 私道街路灯の整備は一定の水準に達しつつあり 今後施設の維持補修量が急増する可能性は少ない。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		私道街路灯新設				整理番号	747		枝番号			
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221607	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	797		
係名 街路灯係					上位施策名				NO			
予算事業名		民有灯助成（建設補助）		コード	61300		交通安全の推進					
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 36 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 地方自治法第2条第3項第8号							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 すべての道路利用者				(2) 地方自治法第232条の2							
					(3) 杉並区民有灯の整備に関する条例及び施行規則							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 申請に基づき私道街路灯を新設する。				活動指標名（式） (1) 私道街路灯新設数 (2) 私道街路灯設置要望件数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 私道街路灯を新設し、安全性を向上する。				成果指標名（式） (1) 私道街路灯整備率 = 私道街路灯新設数 / 私道街路灯新設計画数 (2) 新設実績数前年度比率								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 私道街路灯を新設し、夜間の防犯、道路交通の安全を図る。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標(1)		灯	34	34	26	43	26				
	活動指標(2)		件	33	48	48	40	40				
	成果指標(1)		%	85	130.76	100	165.38	100				
	成果指標(2)		%	109.68	100.00		126.47					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,203	1,790	2,410	2,306	2,410	特記事項			
	(内)委託費		千円			2,410	2,306	2,410				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.07	0.06	0.05	0.05	0.05				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	635	544	454	454	454				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	2,838	2,334	2,864	2,760	2,864				
	単位あたりコスト ÷		円	83,474	68,658	110,144	64,180	110,144				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 -		千円	2,838	2,334	2,864	2,760	2,864					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		都市化に伴い防犯と道路交通の安全対策に関する要請により 施設整備が進展している。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		私道街路灯は防犯上の理由などから依然強い設置要望がある。									
	今後の予測		都市化に伴い防犯と道路交通の安全対策に関する要請により 私道街路灯の整備が進展している。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		私道街路灯改修				整理番号	748		枝番号			
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221607	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号			
係名					街路灯係			上位施策名	NO			
予算事業名					民有灯助成（建設補助）			コード	61300			
					交通安全の推進			6				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36 年度		根拠法令等			
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		すべての道路利用者		(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 地方自治法第232条の2 (3) 杉並区民有灯の整備に関する条例及び施行規則			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				申請に基づき老朽化した私道街路灯の改修工事を行う。						活動指標名（式）	
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				私道街路灯を改修し、安全性を向上する。						成果指標名（式）	
				意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか						(1) 私道街路灯ポール改修率 = 私道街路灯ポール改修数 / 私道街路灯ポール改修計画数 (2) 私道街路灯器具改修率 = 私道街路灯器具改修数 / 私道街路灯器具改修計画数		
				施設の機能・構造を保全し、防犯、道路交通の安全を図る。								
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		本	20	20	20	26	20				
	活動指標(2)		灯	35	81	95	87	95				
	成果指標(1)		%	100	100	100	130	100				
	成果指標(2)		%	85.36	85.26	100.00	91.58	100.00				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,739	7,603	9,259	8,995	9,271	特記事項			
	(内)委託費		千円			9,025	8,785	9,025				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.14	0.26	0.17	0.18	0.17				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,270	2,359	1,543	1,634	1,543			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	6,009	9,962	10,802	10,629	10,814				
	単位あたりコスト ÷		円	300,461	498,099	540,088	408,788	540,688				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 -		千円	6,009	9,962	10,802	10,629	10,814					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		都市化に伴い防犯と道路交通の安全対策に関する要請が増大しており 施設整備が進展している。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		私道街路灯は機能と構造の維持が常に求められており その対応には「迅速さ」が望まれている。									
	今後の予測		私道街路灯の整備は一定の水準に達しつつある。しかし ほとんどの街路灯は設置後30年以上経過しており 特に構造の安全性が低下している。今後、構造の更新を重点的に行い安全性を維持する必要がある。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		河川管理用通路維持補修				整理番号	750	枝番号		
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601	連絡先電話番号	4603	昨年度整理番号	800	
係名		工務係		上位施策名				NO		
予算事業名		河川維持管理		コード	65400	道路交通体系の整備				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40年度		根拠法令等			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 東京都区長委任条項 第11条					
	河川管理用通路（神田川、善福寺川、妙正寺川）の利用者及び河川沿いの住民。		(2)							
	河川管理用通路（神田川、善福寺川、妙正寺川）の利用者及び河川沿いの住民。		(3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		管理用通路の清掃、除草、舗装、転落防止柵の維持補修などを行う。		活動指標名（式）					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		安全かつ快適に通行するために環境維持及び補修を行う。		成果指標名（式）						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		安全で快適な河川環境の保全が図れる。		(1) 維持補修率						
		(2)								
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標(1)	m ²	117,500	117,500	118,119	118,119	118,119			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	48,774	49,021	47,141	56,104	50,856	特記事項 平成14年度は、河川管理用通路舗装補修工事を行う(11,952千円)		
	(内)委託費	千円			45,265	56,069	49,178			
	職員数(正規 非常勤)	人	1.29	1.78	0.94	0.98	0.98			
	人件費	千円	11,704	16,150	8,531	8,894	8,894			
	職員分(超勤分含む)	千円								
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	60,478	65,171	55,672	64,998	59,750			
	単位あたりコスト ÷	円	515	555	471	550	506			
	財源	千円								
	受益者負担分	千円								
国都等からの支出金	千円									
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円	60,478	65,171	55,672	64,998	59,750				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	環境に対する関心が高まり、安全で快適な河川を維持することが一層大切になってきている。現在、河川環境整備の未整備区間において舗装等の老朽化が目立ち始めており、維持管理は重要な課題となっている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)	清掃、除草、剪定などの要望が多い。								
	今後の予測	今後も区民の環境に対する意識の高まりを配慮しつつ、良好な維持管理が必要である。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		河床維持管理				整理番号	751		枝番号						
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	801				
係名		工務係				上位施策名			NO						
予算事業名		河床維持管理		コード	65400		水害対策の推進			10					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40年度		根拠法令等								
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 東京都区長委任条項 第11条 3項 (2) (3)										
	河川		(神田川、善福寺川、妙正寺川) 沿いの住民及び下流域の住民。												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		安全で環境の良い河床を維持するために、清掃、水草除去、法面の除草などを行う。												
	活動指標名 (式)		(1) 河床維持管理面積 (2)												
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		河川機能の保全や河川の環境を良好に保つことで、安全で快適な住環境を提供する。													
成果指標名 (式)		(1) 維持管理対応率 (2)													
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 河川環境が良好に維持され、水害の防止が図れる。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標 (1)		m ²	111,900		111,900		142,999		142,999		142,999			
	活動指標 (2)														
	成果指標 (1)		%	100		100		100		100		100			
	成果指標 (2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	83,152		62,140		62,788		53,166		54,082		特記事項	
	(内)委託費		千円					62,788		53,166		54,082			
	職員数 (正規 非常勤)		人	2.21		2.24		1.91		1.98		1.98			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	20,051		20,324		17,333		17,969		17,969		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	103,203		82,464		80,121		71,135		72,051			
	単位あたりコスト ÷		円	922		737		560		497		504			
	財源	受益者負担分		千円											
		国 都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	103,203		82,464		80,121		71,135		72,051				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年、河川は親水空間として見直され、安全で快適な河川を維持することは、魅力あるまちづくりに欠かせなくなっている。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		除草、水草除去及び堆積土砂による悪臭解消への要望がある。												
	今後の予測		今後も区民の環境に対する意識の高まりを配慮しつつ、良好な維持管理が必要である。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		排水場維持管理				整理番号	756		枝番号						
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	806				
係名		工務係				上位施策名			NO						
予算事業名		排水場維持管理		コード	66200		道路交通体系の整備			5					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		41 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地方自治法 第281条								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)								
	阿佐谷排水場 (阿佐谷南3 - 4 9 2台)						(3)								
	上荻排水場 (上荻1 - 2 1台)														
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		JR線高架下の区道並びに地下道を安全に通行できるよう雨水・地下水等を排水する。				活動指標名 (式)								
						(1) 排水施設の保守点検回数									
						(2)									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		地域住民の交通の便に寄与する。				成果指標名 (式)									
						(1) 点検実施率									
						(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
水害に対する安全が図れる。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画		計画		年度				
指標	活動指標 (1)		回	12		6		6		6					
	活動指標 (2)														
	成果指標 (1)		%	100		100		100		100					
	成果指標 (2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,203		648		687		772		778		特記事項 平成13年度阿佐谷排水場のポンプ作動スイッチが故障し、修理を行った。(124千円)	
	(内)委託費		千円					407		394		394			
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.50		0.48		0.02		0.02		0.02			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,537		4,355		182		182		182		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	5,740		5,003		869		954		960			
	単位あたりコスト ÷		円	478,292		833,840		144,750		158,917		159,917			
	財源	受益者負担分		千円											
		国 都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	5,740		5,003		869		954		960				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		本排水場は、昭和40年代前半、国鉄中央線の高架増線事業により掘削した区道の路面排水対策として設置、また踏切撤去に伴う地下道新設により設置された施設である。共に下水道施設に自然流下することが不可能なため施設が存続の限りこれを維持することが必要不可欠である。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		特になし。												
	今後の予測		施設の老朽化が見られ、数年内に改修工事が必要。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共溝渠維持補修				整理番号	758		枝番号		
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	808
係名		工務係		上位施策名					NO		
予算事業名		公共溝渠維持補修		コード	66600		道路交通体系の整備				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		22 年度		根拠法令等				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法 第28条 2項						
	公共溝渠（主に蓋掛け式水路が対象）の利用者及び近隣の住民。		(2)								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		公共溝渠のしゅんせつや土揚敷の除草を行う。		(3)						
	活動指標名（式）		(1) 維持管理面積								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		公共溝渠の排水機能を保全し、悪臭や蚊発生防止を始め適正な維持管理を図る。		成果指標名（式）							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		公共溝渠周辺の良好な居住環境の確保。		(1) 維持補修対応率							
		(2)									
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	m ²	19,967	19,967	19,967	19,967	19,967				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,093	2,480	2,831	2,567	2,528	特記事項			
	(内)委託費	千円			2,831	2,567	2,528				
	職員数(正規 非常勤)	人	0.08	0.10	0.07	0.08	0.08				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	726	907	635	726	726			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	3,819	3,387	3,466	3,293	3,254				
	単位あたりコスト ÷	円	191	170	174	165	163				
	財源	受益者負担分	千円								
		国都等からの支出金	千円								
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	3,819	3,387	3,466	3,293	3,254				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	年々、公共下水道を敷設し道路化されてきているが、未だに蓋掛け水路や開渠部分が残されている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	蚊の発生、悪臭などの苦情がある。									
	今後の予測	公共溝渠は、公共下水道の敷設に活用されず残されたものであり、今後、水のみち(水路敷を埋め立てた歩行者専用道)として活用できるものは埋め立てを進め、整備を進める必要がある。また地方分権一括法の施行により区に財産が譲与され、境界を明確にし公共用地の保全を図ることが急務となったため、事業の重要性は増大する。									